

Annual Report of

YAMANASHI
INDUSTRIAL
TECHNOLOGY
CENTER



山梨県産業技術センター 年報

令和5年度

2024

山梨県産業技術センター



はじめに

「ものづくり」は、人間固有の営みであり、極めて根源的なもので、その営みを組織化し経済の仕組みとして取り込んだものが製造業であると言われていています。古来、日本人は、ものづくりの技術に長け、我が国は世界有数のものづくり立国として存在感を誇ってきました。そして、人々の日々の生活の中の感性や感情をもとに、その地域にあるモノ・資源を生かしてものづくりをしてきたからこそ、それが一つの地域の文化となって、地域固有の魅力・価値を生み出し、地域産業として栄え、発展してきたといえます。いわば、ものづくりは、技術と文化の融合によって成り立っているのです。

本県においても、機械電子産業をはじめ、ジュエリー、織物、日本酒・ワイン、燃料電池など、地域資源を生かしたものづくり産業が数多くあります。そうした中、ものづくりの現場からは、原材料価格の高騰、半導体不足、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みの推進、DXの重要性の高まりとともに、人手不足という根本的課題を多く耳にするようになりました。

当センターでは、こうした本県産業の現状・問題点を改めて把握、整理する中で、第2期中期運営計画による企業支援をスタートしたところです。この計画では、県内中小企業が安定的に収益を上げ、持続的に成長していくことを目標としており、そのためには、各企業が自社の強みを再認識するとともに、保有技術の更なる高度化、積極的なデジタル技術の活用による業務の効率化、技術革新による新しいサービスの提供、付加価値の高い製品の開発が重要であると捉えています。しかし、ここで大切なのは、効率化や技術革新を図りつつも、ものづくりのもう一つの要素である文化をしっかり継承し、本県の魅力・価値として更に磨き上げていくことに他ありません。

過日、某テレビ番組で、ドローンにより上空から撮影した施設の映像を見て、その施設の名称を当てるといふ企画に当センターを取り上げていただきました。甲府市南部、中央自動車道甲府南インターの西、中央道と並行して新山梨環状道路が走るこの地は、近い将来、リニア山梨県駅として本県の新たな玄関口となる予定ですが、今はまだ多くの田畑を残す自然豊かなところです。そこに、忽然と現れる青い数棟の施設を「ものづくり」というヒントがあっても、産業技術センターと言い当てるのはかなりの難問であり、まだまだ、当センターの認知が進んでいないと感じています。

本年報は、令和5年度における産業技術センターの業務成果をまとめたものです。一人でも多くの方にご高覧いただき、当センターへのご理解を深めていただければ幸いです。

今後も、県内の中小企業の皆様にとって、新たなものづくりのヒントが得られる存在であるよう、職員一同、精進して参ります。

令和6年8月吉日

山梨県産業技術センター

所長 雨宮 俊彦

目次

山梨県産業技術センターの概要	1
1. 沿革	1
2. 土地・建物	2
3. 組織と業務（令和6年3月31日現在）	3
4. 職員名簿（令和6年3月31日現在）	4
5. 職員配置（令和6年3月31日現在）	5
6. 令和5年度決算	6
7. 新設機器・設備	7
8. 山梨県産業技術センター 第2期中期運営計画	10
9. 令和5年度業務体系	12
10. 令和5年度業務実績一覧表	15
運営	16
1. 運営会議	16
(1) 会議の概要	16
(2) 構成員（委員）名簿	16
2. 試験・研究課題等の外部評価会議	17
(1) 評価に対する考え方	17
(2) 評価対象課題	17
(3) 評価結果	18
(4) 委員名簿	18
3. 業界との意見交換	19
技術支援業務	20
1. 技術相談、現地技術支援の担当別実績	20
2. 中小企業重点支援事業	20
(1) テーマ一覧	20
(2) 担当別実績	20
3. 客員研究員による支援	21
4. 依頼試験・設備利用等	22
(1) 実績一覧	22
(2) 依頼試験の内訳	22
(3) 依頼加工等の内訳	22
(4) 設備使用の内訳	22
(5) 試験成績証明書交付の内訳	22
(6) その他（酒母）	23

(7) 設備利用研修会	23
(8) 設備利用研修	23
5. 研究会への支援	24
6. やまなしテキスタイルブランド確立強化支援事業	25
新時代の担い手ネットワーク構築事業	25
研究開発業務	26
1. 産学官連携研究の促進	26
(1) 研究の形態	26
(2) 研究テーマ	26
2. 産業財産権の取得状況	33
(1) 産業財産権（県単独）	33
(2) 産業財産権（共同出願）	34
(3) 産業財産権（海外特許）	35
(4) 産業財産権出願中（県単独）	35
(5) 産業財産権出願中（共同出願）	36
(6) 産業財産権出願中（海外特許）	36
3. 課題対応受託研究	37
4. 業績発表	37
(1) 口頭発表（学会等）	37
(2) 口頭発表（その他）	39
(3) ポスター発表（学会等）	40
(4) 学会誌掲載	40
(5) 専門誌等掲載	42
人材育成業務	43
1. 出前技術講座	43
(1) 講座一覧	43
(2) 担当別実績	44
2. ものづくり人材育成研修	45
(1) 通年	45
(2) 担当別実績	45
3. 県産ワイン・日本酒品質強化支援事業	46
4. 講習会・研修会	46
(1) 講座一覧	46
(2) 担当別実績	50
5. 技術者研修	51
(1) テーマ一覧	51
(2) 担当別実績	51

6. インターンシップ研修	51
7. その他	51
情報提供業務.....	52
1. 研究成果発表	52
2. 刊行物の発行	52
3. センター利用の手引きおよびメールマガジンの発行.....	53
4. その他	53
技術交流.....	54
1. 研究機関連絡会議	54
2. 学会等の会議	56
3. 職員派遣	57
4. その他会議	62
報道関係.....	65
1. テレビ等.....	65
2. 新聞・情報誌等.....	65
職員の資質向上.....	67
1. 派遣研修	67
2. その他研修	68
学会・協会等からの表彰.....	69
加入学会・協会等.....	72
付録	73
1. 組織と業務（令和6年4月1日現在）	73
2. 職員名簿（令和6年4月1日現在）	74
3. 職員配置（令和6年4月1日現在）	75
4. 令和6年度予算	76

山梨県産業技術センターの概要

1. 沿革

明治38年12月	山梨県工業試験場開設
大正12年 4月	山梨県工業試験場上野原分場開設
昭和 4年12月	山梨県醸造研究所開設
昭和10年 4月	山梨県工業試験場吉田分場開設
昭和14年11月	山梨県工業試験場吉田分場を本場とし、旧本場は谷村試験工場に変更
昭和25年12月	山梨県繊維工業試験場開設（条例改正による山梨県工業試験場の名称変更）
昭和26年 8月	山梨県立研磨工業指導所開設
昭和28年 5月	山梨県繊維工業試験場大月分場開設
昭和30年 7月	山梨県立メリヤス工業指導所開設
昭和42年 9月	山梨県機械金属工業指導所開設
昭和43年 4月	山梨県食品工業指導所開設（山梨県醸造研究所の整備による名称変更）
昭和43年 4月	山梨県繊維工業試験場上野原、大月分場廃止
昭和43年 4月	山梨県木工指導所開設
昭和46年 4月	山梨県繊維工業試験場新庁舎開設
昭和49年10月	ワインセンターを山梨県食品工業指導所に併設
昭和61年 4月	山梨県工業技術センター開設（工業関係研究機関再編整備による5所統合）
昭和61年 4月	山梨県富士工業技術センター開設 （工業関係研究機関再編整備による山梨県繊維工業試験場の名称変更）
平成 4年 4月	山梨県工業技術センター新庁舎開設
平成12年 4月	山梨県高度技術開発センター新庁舎開設
平成29年 4月	山梨県産業技術センター開設（両センターの統合）
平成30年 4月	富士技術支援センター研究開発支援棟開設
令和 4年 6月	甲府技術支援センターイノベーション支援棟開設

2. 土地・建物

[甲府技術支援センター]

所在地 山梨県甲府市大津町2094

敷地面積	16,893 m ²
建物延面積	14,388 m ²
研究管理棟（鉄骨鉄筋コンクリート造り6階建）	7,008 m ²
デザイン棟（鉄筋コンクリート造り2階建）	2,158 m ²
実験棟（鉄骨造り2階建）	3,189 m ²
イノベーション支援棟（鉄骨造り2階建）	1,750 m ²
附属施設	283 m ²

[ワイン技術部]

所在地 山梨県甲州市勝沼町勝沼2517

敷地面積	4,280 m ²
建物延面積	914 m ²
ワイン試験棟（鉄筋コンクリート平屋・地下1階）	868 m ²
附属施設	46 m ²

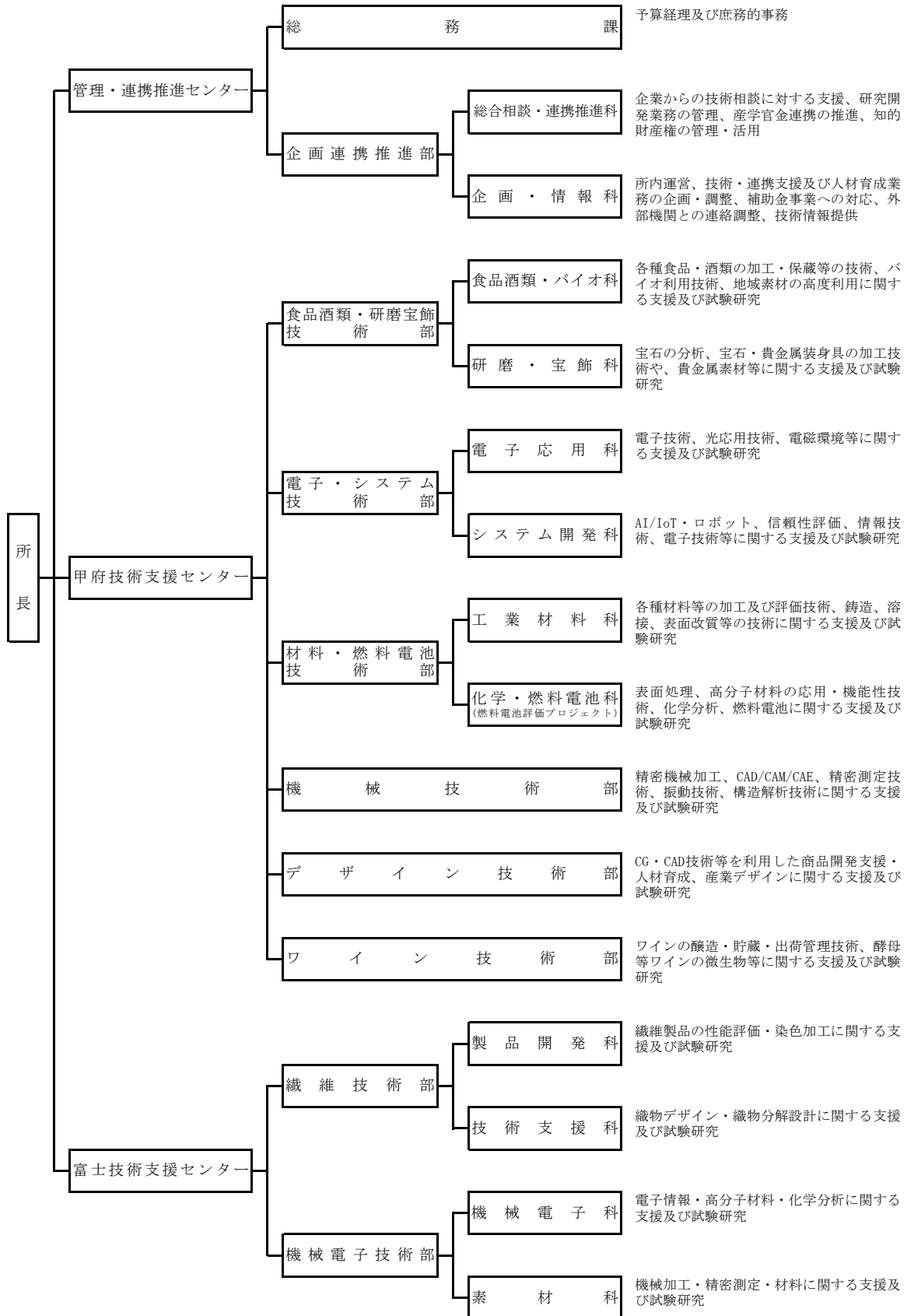
[富士技術支援センター]

所在地 山梨県富士吉田市下吉田6-16-2

敷地面積	10,117 m ²
建物延面積	3,583 m ²
管理棟（鉄筋コンクリート造り2階建）	1,177 m ²
試験棟（鉄骨造り平屋）	1,339 m ²
開放試験棟（鉄骨造り1階建）	222 m ²
研究開発支援棟（鉄骨造り平屋）	598 m ²
附属施設	247 m ²

3. 組織と業務

(令和6年3月31日現在)



4. 職員名簿

(令和6年3月31日現在)

所 長 丹 沢 竜	[研磨・宝飾科]	主任研究員 宮 川 和 博	デザイン技術部
管理・連携推進センター	専 門 員 佐 野 照 雄	専 門 員 佐 藤 貴 裕	部 長 金 丸 勝 彦
センター長(兼1) 花 形 俊 彦	研究員 阿 部 貞 一	會計年度任用職員 阿 部 貞 一	主任研究員 串 田 賢 一
特別研究員(兼2) 河 西 伸 一	會計年度任用職員 鶴 田 裕 太	會計年度任用職員 鶴 田 裕 太	主任研究員 鈴 木 文 晃
特別研究員 高 尾 清 利			研究員 佐 藤 博 紀
研究管理幹(富) 宮 川 和 幸			會計年度任用職員 数 野 真 裕 美
特別職非常勤 大 丸 明 正	電子・システム技術部		會計年度任用職員 岡 治 美
	部 長 河 野 裕		
総務課	[電子応用科]		ワイン技術部
課長(事務取扱) 花 形 俊 彦	主任研究員 木 島 一 広		主幹研究員・部長(兼1) 恩 田 匠
副 主 査 杉 田 洋 輔	主任研究員 清 水 章 良		主任研究員 木 村 英 生
主 査(兼2) 矢 野 貴 士	専 門 員 萩 原 茂		主任研究員 小 松 正 和
専 門 員 (富) 若 林 貴 義	研 究 員 富 永 裕 輝		研 究 員 佐 藤 憲 亮
主 任 杉 野 巧	會計年度任用職員 和 光 順 子		會計年度任用職員 三 科 浩 仁
會計年度任用職員 飯 田 恵 子			會計年度任用職員 窪 田 守
會計年度任用職員 中 村 澄 香			
會計年度任用職員 芦 沢 由 美 子	[システム開発科]		
會計年度任用職員(富) 流 石 由 香 理	主任研究員 布 施 嘉 裕		富士技術支援センター
	専 門 員 阿 部 正 人		センター長 吉 村 千 秋
企画連携推進部	研 究 員 中 村 卓 響		副センター長 武 川 守
主幹研究員・部長 恩 田 匠	技 師 保 坂 響		研究管理幹(兼1) 宮 川 和 幸
[総合相談・連携推進科]	材料・燃料電池技術部		繊維技術部
主任研究員 三 井 由 香 里	主幹研究員・部長 山 田 博 之		主幹研究員・部長 渡 辺 誠
主幹研究員(富)(兼1) 勝 又 信 行			
研究員(兼1) 長 田 和 真	[工業材料科]		[製品開発科]
	主幹研究員 阿 部 治		主幹研究員 望 月 威 夫
[企画・情報科]	主任研究員 石 田 正 文		主任研究員 尾 形 正 岐
主任研究員 宮 本 博 永	主任研究員 鈴 木 大 介		専 門 員 (兼 1) 若 林 貴 義
主任研究員 宮 川 理 恵	研 究 員 深 澤 郷 平		研 究 員 塩 澤 佑 一 朗
主幹研究員(富)(兼1) 勝 又 信 行			會計年度任用職員 渡 邊 直 子
研 究 員 長 田 和 真	[化学・燃料電池科]		會計年度任用職員(兼1) 流 石 由 香 理
會計年度任用職員 馬 場 真 奈 美	主任研究員 三 神 武 文		
	主任研究員 上 垣 良 信		[技術支援科]
甲府技術支援センター	主任研究員 芦 澤 里 樹		主幹研究員 五 十 嵐 哲 也
センター長 花 形 俊 彦	研 究 員 宮 澤 航 平		主任研究員 秋 本 梨 恵
副センター長 岩 間 貴 司	(燃料電池評価プロジェクト)		會計年度任用職員 勝 俣 久 美
	研 究 員 川 本 鉄 平		會計年度任用職員 高 山 美 和
食品酒類・研磨宝飾技術部	研 究 員 小 林 誉		
主幹研究員・部長 有 泉 直 子	會計年度任用職員 加 賀 爪 広		機械電子技術部
	會計年度任用職員 穴 水 弘 一		主幹研究員・部長 中 村 聖 名
[食品酒類・バイオ科]	會計年度任用職員 平 賀 庸 子		
主任研究員 長 沼 孝 多	會計年度任用職員 丸 山 知 子		[機械電子科]
主任研究員 尾 形 美 貴			主幹研究員 勝 又 信 行
主任研究員 橋 本 卓 也	機械技術部		主任研究員 古 屋 雅 章
研 究 員 兼 坂 匡 人	主幹研究員・部長 佐 野 正 明		技 師 渡 邊 慧 輔
研 究 員 樋 口 か よ			
	主幹研究員 石 黒 輝 雄		[素材科]
	主任研究員 西 村 通 喜		主任研究員 萩 原 義 人
	主任研究員 小 松 利 安		主任研究員 寺 澤 章 裕
	主任研究員 早 川 亮 陽		主任研究員 望 月 陽 介
	研 究 員 米 山 智 明		
(兼1): 所内兼務(富): 富士技術支援センター	研 究 員 坂 本 智 明		
(兼2): 総合理工学研究機構と兼務	會計年度任用職員 神 澤 隆 彦		

5. 職員配置

(令和6年3月31日現在)

	行政職							研究職										会計年度任用職員	合計				
	所長	センター長	副センター長	課長	主任	副主任	専門員	センター長	副センター長	特別研究員	研究管理幹	特別職非常勤	主幹研究員・部長	部長	主幹研究員	主任研究員	専門員			研究員	技師		
山梨県産業技術センター	1																					1	
管理・連携推進センター		(1) ¹								1(1) ²	1	1										3 (2)	
総務課				(1) ¹	(1) ²	1	1	1														4	7 (2)
企画連携推進部													1										1
総合相談・連携推進科														(1) ¹	1			(1) ¹					1 (2)
企画・情報科														(1) ¹	2			1			1		4 (1)
甲府技術支援センター		1								1													2
食品酒類・研磨宝飾技術部													1										1
食品酒類・バイオ科																3		2					5
研磨・宝飾科																1	1	1				2	5
電子・システム技術部														1									1
電子応用科																2	1	1			1		5
システム開発科																1	1	1	1				4
材料・燃料電池技術部													1										1
工業材料科															1	2		1					4
化学・燃料電池科																3		1					4
(燃料電池評価プロジェクト)																		2				4	6
機械技術部													1		1	4		1			1		8
デザイン技術部														1		2		1			2		6
ワイン技術部													(1) ¹			2		1			2		5 (1)
富士技術支援センター			1						1		(1) ¹												2 (1)
繊維技術部													1										1
製品開発科							(1) ¹								1	1		1			1(1) ¹		4 (2)
技術支援科															1	1					2		4
機械電子技術部													1										1
機械電子科															1	1					1		3
素材科																3							3
合計	1	1 (1) ¹	1	(1) ¹	(1) ²	1	1 (1) ¹	1	1	1	1 (1) ²	1 (1) ¹	1	6	2	5 (2) ¹	29 (2) ¹	3	14 (1) ¹	2	20 (1) ¹		92 (9)

(括弧)¹: 所内兼務

(括弧)²: 総合理工学研究機構と兼職

6. 令和5年度決算

主な事業経費

歳入

区分（人件費を除く）	決算額 （千円）	備考
試験等手数料	8,263	依頼試験、依頼加工、証明書等
機械使用料	29,430	設備使用
生産物売払収入	299	ワイン、酵母
受託事業収入	2,252	中小企業課題対応受託研究
行政財産使用料	13	行政財産の使用に係る収入
財産貸付収入	242	自動販売機設置
外部資金	9,494	難燃性マグネシウム合金自動車用大型部材製造技術開発事業費

歳出

区分（人件費を除く）	決算額 （千円）	備考
所運営費（主な経費） ・運営会議（委員謝金、旅費、その他） ・依頼試験関連経費（消耗品費、修繕費） ・外部評価会議（委員謝金、旅費）	28,849	所の運営に要する経費
研究指導費（主な経費） ・研究事業関連経費 （備品、消耗品、委託費、原材料費、旅費、負担金） ・講習会等の開催に係る経費（講師謝金、旅費等） ・技術情報構築支援事業 ・利用促進事業	96,827	経常研究費 技術相談、中小企業課題対応受託研究、企業訪問（技術支援） 情報提供等に要する経費
成長戦略研究 成長戦略研究費	15,594	成長戦略研究に係る研究費
総合理工学研究機構費	13,410	総合理工学研究機構に係る研究費
ワインセンター費（主な経費） ・ワイン製造に係る経費	8,282	ワイン技術部の運営等に要する経費
デザインセンター費（主な経費） ・デザイン情報調査提供事業	1,001	中小企業のデザイン開発力向上のためのデザイン情報の収集・提供等の事業に要する経費
職員職務発明特許出願費	1,211	職員の職務発明等に関する特許出願、県有特許権の管理を行う経費
高度研究開発促進事業費	4,708	県内産業の高度化を図ると同時に産業技術センターの研究開発を促進するため、特定分野で専門的な知識を持ち、高度な見識を有する人材による指導を行うための経費
基礎的技術産業集積活性化推進事業費（主な経費） ・ものづくり人材育成研修事業 ・イノベーション支援棟管理費	11,171	医療機器をはじめとする機械電子産業や地場産業などの製品開発支援機能を強化することで、中小企業を後押しして高付加価値化を図り、受注拡大に繋げるための経費
山梨ものづくり支援事業 ・県産ワイン・日本酒品質強化支援事業費	26,165	製品の品質評価について、技術者の育成や必要な機器整備等に要する経費（地方創生推進交付金事業）
外部資金 燃料電池関連産業集積・育成支援事業費 ・燃料電池評価プロジェクト推進事業費	51,209	燃料電池セルの発電特性評価をおこなう機能の確立と人材育成を図り、燃料電池関連産業の集積と育成を促進するための事業に要する経費
外部資金 難燃性マグネシウム合金自動車用大型部材製造技術開発事業費	9,494	NEDOの「戦略的省エネルギー技術革新プログラム事業」に参画して研究を行う経費

7. 新設機器・設備

(1) 甲府技術支援センター

区分	機器名	メーカー名・型式	用途
競輪の補助金(JKA)	紫外可視近赤外分光光度計	日本分光(株) V-770	透過スペクトル、反射スペクトル、吸収スペクトルなどを測定する装置
競輪の補助金(JKA)	精密試料切断機	ヴァーダーサイエンティフィック(株) Q カット 250A	切断に伴う熱や変形を抑えながら各種材料を精密に切断する機器
競輪の補助金(JKA)	レーザー加工機	トロテック・レーザー・ジャパン(株) Speedy 360 Run on Ruby	樹脂材料等の切断及びマーキング加工
地方創生交付金	高精度電子プローブマイクロアナライザ (EPMA)	日本電子(株) JXA-iHP200F	測定物の表面を電子顕微鏡により拡大観察しながら、元素組成を調べる装置
地方創生交付金	エックス線光電子分光分析装置(XPS)	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株) Nexsa G2	試料の最表面の化学結合状態の分析
地方創生交付金	高精度三次元座標測定機	(株)東京精密 ZEISS PRISMO 9/12/7	測定子を製品表面に接触させ、接触位置の座標データにより長さや穴の直径などの寸法評価が可能な機器
地方創生交付金	白色干渉方式表面形状測定機	アメテック(株)ザイゴ事業部 Nexview NX2	表面粗さや微小形状を、高精度に非接触測定する装置
地方創生交付金	ベクトルネットワークアナライザ	キーサイト・テクノロジー(株) E5080B	対象の高周波伝送特性(透過・反射の強度と位相ずれなど)を測定する装置
地方創生交付金	インピーダンスアナライザ	キーサイト・テクノロジー(株) E4991B	電子部品のインピーダンス(電流の流しにくさ)の周波数特性を測定する測定器
地方創生交付金	EMI テストレシーバ高速オプション	ROHDE & SCHWARZ(株) ESW-B1000R	電子機器から出ている電磁波を測定する計測器の FFT 帯域幅を 80MHz から 970MHz に拡張するオプション
地方創生交付金	大型万能材料試験機	(株)島津製作所 UH-F500kNX	試験片に力を加え、破断に至るまでの変形挙動を測定する装置
地方創生交付金	ポータブル型エックス線残留応力測定装置	バルステック工業(株) μ-X360s	X線により測定物表面の残留応力を非接触・非破壊で測定する装置
地方創生交付金	IR イメージング分析装置	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株) Nicolet iS50 (本体)、Nicolet RaptIR (顕微システム)	赤外光を照射し、吸収された光を測定することで試料の構造を解析する装置
地方創生交付金	イオンクロマトグラフ	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株) Integriion RFIC	工場排水など溶液試料のイオン成分を分析する機器
地方創生交付金	蛍光X線分析装置 (RoHS 分析測定機能付き)	(株)日立ハイテクサイエンス EA1400	試料に含まれる構成元素を特定する装置
地方創生交付金	レーザー干渉式平面度分析装置	アメテック(株)ザイゴ事業部 Verifire	試料表面の高低差を非接触測定する装置
地方創生交付金	味覚センサー	(株)インテリジェントセンサーテクノロジー 味認識装置 TS-5000Z	酒類や飲料、食品の味を数値化することができる装置
地方創生交付金	原子吸光度計	(株)日立ハイテクサイエンス ZA3300	金属元素の濃度を測定する装置

区分	機器名	メーカー名・型式	用途
地方創生交付金	密度比重計	(株)アントンパール・ジャパン DMA4501	液体試料の密度を測定する装置
地方創生交付金	多検体測定用 pH メーター	東亜ディーケーケー(株) HM-42X	日本酒等の水素イオン濃度 (pH) を一定温度下かつ連続的に測定する装置
地方創生交付金	蒸留水製造装置	アドバンテック東洋(株) RFD343ND	試験用の蒸留水を製造
地方創生交付金	液体クロマトグラフ質量分析計	日本ウォーターズ (株) ACQUITY Premier Xovo TQ-Smicro APGC	ワインやブドウ果汁中の微量成分分析
地方創生交付金	ドラフトチャンバー	(株)ダルトン DFC51	化学分析用試料の前処理
県単独	X線回折データベース	(株)リガク ICDD PDF-2 2023	X線回折による物質の同定
県単独	酒類用 pH メーター	東亜ディーケーケー(株) HM-41X	ワインやブドウ果汁の水素イオン濃度 (pH) を測定
県単独	亜硫酸分析装置	宮本理研工業(株) AR-50(S)(P)	ワインの遊離亜硫酸や総亜硫酸を測定
県単独	切削研削動力計用チャージアンプ	日本キスラー(株) Type 5080	加工抵抗を測定するチャージアンプ
県単独 (NEDO)	耐食性試験装置(CASS 試験機)	板橋理化工業(株) SQ-900-FCA	表面処理皮膜等の耐食性を評価
県単独	妨害波測定用 CMAD クランプ	(株)協立テクノロジー TKT-40	電子機器から放射される電磁波を測定するための装置の一部
県単独	冷凍冷蔵庫 (よこ型)	パナソニック(株) SUR-K1571CB-R	食品の冷凍および冷蔵
県単独	蒸し器	エイシン電機(株) M-22	食品の調理 (蒸す)
県単独	データロガー	グラフテック(株) GL-840-SDM	金属溶解温度計測
県単独	電気ルツボ炉	山田電機(株) BK-1 (コントローラ付)	金属溶解用
県単独	高性能精密騒音計	(株)小野測器 LA-7000	製品の騒音レベルを測定
県単独 (総理研)	慣性計測装置	Movella 社 Xsens Mti-680G	ロボットの姿勢測定
県単独 (総理研)	汎用クローラユニット	(株)CuboRex Cugo MEGA	ロボット試作開発用移動機構
県単独 (総理研)	ビデオカード	ASUS 社 TUF-RTX4090-GAMING	AI による学習処理

(2) 富士技術支援センター

区分	機器名	メーカー名・型式	用途
地方創生交付金	自動ワインダー	TMT 神津(株) WINDING-MASTER	高速テークアップワインダーと高速延伸仮撚り機技術を活かした、多目的に使用できる高性能自動ワインダー装置
地方創生交付金	ヒートセット付き撚糸機	南豊紡機 NF2100R	加熱機能を備えた撚糸機で、「合糸」「撚り」「熱セット」を同時に行うことが出来る装置
地方創生交付金	ガスクロマトグラフ質量分析計	(株)島津製作所 GCMS QP2020 NX	試料を加熱し発生する気化成分を分離成分を質量分析計により高感度に定性・定量分析する分析機器
地方創生交付金	顕微付き赤外分光光度計	日本分光(株) FT/IR-6X・IRT-5200	赤外光を試料(主として有機物)に照射し透過または反射した光量を測定、物質の定性・同定を行う装置
地方創生交付金	恒温恒湿槽	エスペック(株) プラチナス PR-2J	高温/低温、高湿/低湿の環境を再現する装置
地方創生交付金	エネルギー分散型蛍光X線分析装置	(株)島津製作所 EDX-7200	試料にX線を照射し発生する原子固有のX線のエネルギーを分析することで、構成元素を特定する装置
地方創生交付金	精密試料切断機	リファインテック(株) RCB-961 リファイン・ソー・エクセル、A	金属組織観察などを行う試料を切断するための装置
地方創生交付金	湿式切断機	リファインテック(株) RCA-237	鉄鋼、非鉄金属などを切断するための装置
地方創生交付金	試料研磨機	IMT(株) IM-P2・SP-L1	金属組織、めっき、電子部品の断面などを観察するための試料を研磨する装置
地方創生交付金	分析機能付き電子顕微鏡	日本電子(株) JSM-IT510LA	電子線を照射し放出される二次電子等を検出して試料表面の凹凸や組成分布の観察や構成元素の分析を行う装置
県単独	純水製造装置	ヤマト科学(株) WG205	試験用の純水製造
県単独	超音波検査装置	インサイト(株) DPR300	超音波信号を試料に伝搬させ、厚み測定や内部欠陥を検出する装置
県単独(総理研)	レーザー加工機	(株)smartDIYs Smart DIYs・Etcher Laser	レーザーによる切断、描画

8. 山梨県産業技術センター 第2期中期運営計画

産業技術センターでは、第1期中期運営計画の実施結果を踏まえ、県内中小企業が安定的に収益を上げ、持続的に成長していくことを目標に掲げ、令和5年度から8年度までの4年間の第2期中期運営計画を策定し、実施しています。

【産業界が直面している状況】

■世界的な潮流

- ・原油価格・原材料価格の高騰
- ・世界的な半導体不足の影響
- ・脱炭素化・SDGs への取り組みが加速
- ・新型コロナウイルスの影響

■地域固有の課題

- ・迅速なものづくりの展開
- ・技能・技術の更なる深化・高度化
- ・技能・技術の円滑な継承
- ・適切なDXへの取り組み

【計画の方向性とアクション】

<Action1：技術支援機能の強化>

産業構造の変化や製品の多様化に伴う企業ニーズの変化や社会情勢の変化に柔軟に対応していくため、出口を見据えたソリューション機能の充実を図りながら、技術支援機能を強化する。

- ① 技術支援業務の推進
- ② DX 関連技術に関する技術支援の推進
- ③ 総合相談窓口業務の推進
- ④ 要素技術分野及び戦略産業分野の支援
- ⑤ 中小企業重点支援事業の実施
- ⑥ スタートアップ支援の推進

<Action2：技術移転・事業化支援の推進>

成長分野への進出や未来の山梨の創造につながる研究に取り組み、その成果の技術移転によって企業の技術力及び製品開発力の強化、更なる競争力の強化につなげ、新たな事業展開へと発展させる。

- ① 戦略的な研究の推進
- ② 戦略的な知財の権利化・ノウハウの蓄積
- ③ 研究成果の普及及び情報発信の推進
- ④ 研究成果の技術移転の推進
- ⑤ 多様な企業ニーズに応える受託研究や共同研究の推進

<Action3：オープンイノベーション※による高付加価値製品開発の推進>

他の研究機関や産業支援機関、金融機関等との連携強化によりオープンイノベーションを推進し企業が求める課題に迅速かつ的確に対応する。

- ① 他機関との連携推進
- ② オープンイノベーション推進のための橋渡し業務
- ③ ブランド・デザイン戦略の推進と、試作創作機能の整備及び人材育成
- ④ 脱炭素化・水素利用社会への適応
- ⑤ 地域の課題を地域の技術で解決し、事業化につなげるオープンイノベーションの推進

<Action4：組織運営の最適化>

社会情勢や経済状況がめまぐるしく変化していく中、多様な技術ニーズに柔軟に対応できる組織体制を構築する。

- ① 計画的な職員の能力開発と育成
- ② 危機管理対策の推進
- ③ センター運営の見える化・効率化

【最終目標】

オープンイノベーションと DX の促進による持続的成長企業の創出

※ オープンイノベーション：既存の組織の枠組みを超え、広く知識や技術を集結してイノベーションを起こすこと

9. 令和5年度業務体系

令和5年度は、「技術支援」「研究開発」「人材育成」「情報提供」「技術移転・事業化支援」を柱に、中小企業が抱える技術課題の解決や新技術・新製品開発の支援、次世代の産業展開に向けた支援等を実施した。

●事業の具体的な取り組み

【技術支援業務】

- 現地技術支援（企業等へ直接出向いた支援）
 - ・製造現場での技術支援
 - ・研究成果を活用した技術支援
 - ・未利用企業訪問
 - ・各種団体等の要請による職員派遣
- 技術相談・依頼試験・設備利用
 - ・依頼試験、設備利用への対応
 - ・各部及び各担当間で連携した技術支援
 - ・設備利用研修の実施
 - ・設備機器の利用促進
- 総合相談窓口の体制強化
 - ・関係機関との連携強化
 - ・甲府と富士の連携強化（オンラインシステムの活用）
- 中小企業重点支援事業の実施（職員を一定期間企業に派遣しての技術支援）
 - ・研究員を派遣し、企業の直面する課題を解決
 - ・特に高度な知識、技術を要する課題等に対しては客員研究員を派遣
- 成長産業への参入促進
 - ・やまなし産業支援機構など関係機関と連携し、クリーンエネルギー、燃料電池、医療関連機器などの成長分野の事業化に取り組む企業へ技術支援を実施
- 中小企業の海外展開支援事業
 - ・規格適合性評価試験サービス
 - ・海外規格情報の閲覧サービス
 - ・専門相談員による技術相談
 - ・JETRO との連携による支援
- IoT化による生産性向上の支援
 - ・IoT、ロボットに関する研究開発に取り組み、技術やノウハウを蓄積
 - ・AI/IoT 技術導入に関する支援
- 戦略産業分野への支援
 - ・燃料電池関連技術及び医療機器関連産業分野への支援
- 地域産業の個別課題を地域内で解決する取り組み
 - ・オープンイノベーション推進の取り組み
- 公設試験研究機関との連携強化を図る中で機器整備や支援事業を実施
 - ・IoT 産業への参入支援のための機器整備
 - ・医療産業などの成長分野関連技術の支援

- やまなしテキスタイルブランド確立強化支援事業
 - ・これからの産地を先導する若手従業者等のネットワーク構築を支援
- 技術研究会
 - ・技術を核とした研究会活動を支援

【研究開発業務】

- 産学官連携研究の促進
 - ・研究テーマ 26 課題を実施。このうち 16 課題を企業、大学及び総合理工学研究機構等と連携して実施
 - ・国の委託事業（戦略的基盤技術高度化支援事業等）の積極的な取り組み
 - ・早期事業化に向けた研究の推進
- 競争的資金の積極的な獲得と活用支援
 - ・競争的研究資金の導入支援
- 産業財産権取得と有効活用促進
 - ・産業財産権等の取得を意識しながら研究開発業務を実施
- 課題対応受託研究への対応
 - ・企業で対応が困難な研究開発課題をセンターが実施
- 燃料電池評価プロジェクト推進事業
 - ・燃料電池セルの特性評価を行える機能を確立し、技術支援体制を強化
- オープンイノベーションの推進
 - ・企業ニーズを把握して大学等の技術シーズを探索し、国・県・産業支援機関等の補助制度を活用できるように支援
 - ・信州大学繊維学部との連携推進
 - ・産業技術総合研究所との連携推進（産総研 IC 事業の推進）
- 研究成果の普及啓発及び情報発信の促進
 - ・出前技術講座、企業巡回、ホームページなどにより周知

【人材育成業務】

- 技術講習会・研修会
 - ・最新の技術情報や、事業化、経営支援に関する情報提供を行う講習会・研修会を開催
- 出前技術講座
 - ・センター職員を企業、組合等に直接派遣して講座を実施
- ものづくり人材育成研修
 - ・県内企業を対象に、製造技術、開発技術、評価技術等について、座学、実習形式で研修を開催
- 県産ワイン・日本酒品質強化支援事業
 - ・味覚センサー、原子吸光光度計、密度比重計、多検体測定用 pH メーターの整備
 - ・企業技術者の交流会や導入機器に関するセミナー等の開催
- 技術者研修
 - ・中小企業の従業員等を一定期間受け入れて行う研修を実施
- オープンイノベーション推進のための人材育成
 - ・オープンイノベーションの理解度を高め、効果的にオープンイノベーションを推進

【情報提供業務】

- 研究成果速報の配信、研究報告の発行、研究成果の動画配信
- 刊行物（年報、センターニュースおよびデザイン情報紙）の発行
- Web（甲斐絹ミュージアム、フェイスブック、YAMANASHI DESIGN ARCHIVE）による情報発信
- やまなし産学官連携研究交流事業での研究成果発表（オンライン開催）
- プロポーザルページによる情報発信
- センター利用の手引き及びメールマガジンの提供

【技術移転・事業化支援業務】

- 研究成果の技術移転促進
 - (a) 研究成果フォローアップ事業
 - ・終了した研究テーマの追試験や試作等を行うことで研究成果を発展させ、技術移転を促進
 - (b) 企業ニーズ対応試作開発事業
 - ・研究成果に対して、企業から技術移転や事業化の要望がある場合に、試作等による補完研究を実施
- 産学官金連携による事業化支援
 - ・「オープンイノベーション推進ネットワーク」により、ニーズの把握から研究開発の実施、販路開拓等を一元的に支援

【その他の事業】

- センターの運営に関すること
 - ・運営会議の開催
 - ・外部評価会議の開催
 - ・業界との意見交換（個別訪問）
- 技術支援に資する機器の設置
 - ・計画的な設備機器の新規導入・更新等
- 技術交流
 - ・産業技術連携推進会議、学会等への参加・発表
 - ・各種会議・審査会等への派遣
- 職員の資質向上
 - ・職員のスキルアップに向けた計画的な研修派遣

10. 令和5年度業務実績一覧表

企画：企画連携推進部、食品研磨：食品酒類・研磨宝飾技術部、電子システム：電子・システム技術部、材料燃料電池：材料・燃料電池技術部、機械：機械技術部、デザイン：デザイン技術部、ワイン：ワイン技術部、繊維：繊維技術部、機械電子：機械電子技術部

		企画	食品 研磨	電子 シス テム	材料 燃料 電池	機械	デザ イン	ワイン	繊維	機械 電子	計
技術支援											
現地技術支援	企業数	20	122	152	56	61	177	58	116	64	826
製造現場での技術支援	企業数	20	109	127	43	59	150	54	103	55	720
未利用訪問	企業数	0	11	10	8	2	1	0	4	6	42
研究成果普及支援	企業数	0	2	15	5	0	26	4	9	3	64
産総研との連携支援（産総研CA含む）	件	6	0	0	1	0	1	0	0	0	8
技術相談	件	35	667	920	947	718	232	261	544	750	5,074
来所相談	件	12	493	490	640	578	179	237	503	486	3,618
電話相談	件	13	142	172	74	27	13	24	17	162	644
インターネット相談	件	10	32	258	233	113	40	0	24	102	812
中小企業重点支援事業	企業数	0	1	2	1	3	1	0	0	1	9
依頼試験	件	-	379	0	999	484	38	601	692	784	3,977
依頼加工	件	-	1,154	0	0	0	0	0	0	32	1,186
設備使用	件	-	1,270	6,431	7,518	1,807	244	622	691	4,804	23,387
試験成績証明書等交付	件	-	10	0	8	0	21	11	0	32	82
設備利用研修会	回	-	1	3	1	0	1	3	0	0	9
	参加者数	-	6	45	12	0	10	35	0	0	108
設備利用研修（個別）	参加者数	-	38	70	0	0	32	12	14	49	215
研究会への支援	回	-	3	-	7	3	4	-	-	8	25
	参加者数	-	120	-	82	23	26	-	-	138	389
やまなしテキスタイルブランド確立強化支援事業	回	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
	参加者数	-	-	-	-	-	-	-	71	-	71
客員研究員指導	回	2	6	10	0	23	21	0	24	0	86
試験研究											
研究テーマ	テーマ数	0	5	3	4	4	2	1	3	4	26
成長戦略研究	テーマ数	0	3	0	2	1	0	1	0	1	8
総理研研究	テーマ数	0	0	1	0	0	1	0	1	0	3
経常研究	テーマ数	0	2	2	1	2	1	0	2	3	13
競争的資金研究	テーマ数	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
課題対応受託研究	テーマ数	0	0	0	2	1	1	1	1	2	8
産業財産権	件	0	2	0	2	0	3	0	19	1	27
特許権等（登録）	件	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3
〃（出願）	件	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
〃（実施許諾）※契約数	件	0	0	0	0	0	3	0	19	0	22
業績発表	件	3	5	1	13	10	0	4	5	8	49
口頭発表（学会等）	件	1	0	0	5	10	0	2	4	3	25
口頭発表（その他）	件	0	0	0	3	0	0	0	0	1	4
ポスター発表（学会等）	件	0	2	0	2	0	0	0	1	0	5
学会誌掲載	件	0	2	0	1	0	0	2	0	3	8
専門誌等掲載	件	2	1	1	2	0	0	0	0	1	7
人材育成											
出前技術講座	講座	0	4	4	3	1	2	4	9	1	28
	参加者数	0	39	54	35	5	32	186	172	19	542
ものづくり人材育成研修	講座	-	0	1	2	2	4	0	2	2	13
	参加者数	-	0	3	14	9	21	0	12	46	105
講習会・研修会	講座	0	10	4	5	4	5	3	1	2	34
	参加者数	0	194	82	84	86	65	100	21	31	663
県産ワイン日本酒品質強化支援事業	講座	-	4	-	-	-	-	1	-	-	5
	参加者数	-	90	-	-	-	-	6	-	-	96
技術者研修	参加者数	0	1	0	0	1	7	0	12	2	23
情報提供											
研究成果発表会	参加者数	41	-	-	-	-	-	-	-	-	41
研究成果紹介（動画配信）	テーマ数	0	5	0	3	0	2	0	1	0	11
研究成果紹介（ポスター）	テーマ数	0	5	0	6	0	2	1	3	0	17
センターニュース、デザイン情報紙発行	回	3	-	-	-	-	6	-	-	-	9
メールマガジン発信	回	28	-	-	-	-	-	-	-	-	28
プロポーザルページ（ホームページ）	回	6	-	-	-	-	-	-	-	-	6
技術移転・事業化支援											
一般（産業財産権実施許諾を含む）	件	0	9	0	0	0	39	0	17	0	65
フォローアップ事業/ニーズ対応試作開発事業	件	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
見学者											
報道関係	人	202	129	181	0	0	170	0	27	12	721
テレビ等	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
新聞等	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22

運営

1. 運営会議

(1) 会議の概要

実施日	議題
令和5年8月3日 (会場:甲府技術支援センター)	(1) 第1期中期運営計画の成果概要及び第2期中間運営計画の計画概要 ① 実施状況(概要) ② 第2期中間運営計画の計画概要 ・事業計画 ・主な目標値 (2) 意見交換 (3) その他

(2) 構成員(委員)名簿

[学識経験者]		
氏名	所属	役職
茅 暁陽	国立大学法人 山梨大学	理事・副学長
早川正幸	公立大学法人 山梨県立大学	理事長・学長
名取貴光	学校法人 C2C Global Education Japan 山梨学院大学	健康栄養学部長
[業界関係者]		
氏名	所属	役職
内田長久	山梨県菓子工業組合	理事長
北原兵庫	山梨県酒造組合	会長
武田信彦	山梨県味噌醤油工業協同組合	理事長
柳本 力	協同組合山梨県ジュエリー協会	理事長
中込 裕	一般社団法人 山梨県情報通信業協会	副会長
板橋明好	一般社団法人 山梨県鉄構溶接協会	副会長
齊藤基樹	一般社団法人 山梨県機械電子工業会	会長
有賀雄二	山梨県ワイン酒造組合	会長
加々美 好	山梨県絹人織織物工業組合	理事長
[関係機関]		
氏名	所属	役職
内藤 亮	公益財団法人 やまなし産業支援機構	常任理事

2. 試験・研究課題等の外部評価会議

(1) 評価に対する考え方

評価を受ける目的	「山梨県立試験研究機関における評価指針（H13.3策定）」に基づき、山梨県産業技術センターが計画・実施する試験研究が、効率的かつ効果的に実施されるよう、公平中立の立場から客観的な意見をいただくために実施する。		
評価を受ける課題	山梨県産業技術センターが実施する研究は、すべて評価対象研究課題とする。ただし、国や企業等からの受託研究は、評価対象研究から除く。 (受託研究は国や企業等の目的に基づいて行うものであり、研究費も委託者が負担するものであるため。)		
研究課題の評価方法	評価の種類は、「事前評価」「中間評価」「事後評価」の3種類とする。評価方法は、効果的・効率的な研究の推進と、研究員の意識啓発をねらいに、客観的判断が可能な5段階評価方式とする。		
	事前評価項目	中間評価項目	事後評価項目
	①研究の必要性 ②研究内容の新規性 ③研究目標、研究計画の妥当性 ④研究体制、研究予算の妥当性	①研究計画の進捗度 ②今後の研究計画の妥当性	①研究目標の達成度
評価結果に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> ●事前評価、中間評価では、評価点に対し、次のとおり対応する。 <ul style="list-style-type: none"> ・3点以上の課題は、評価コメントを参考に必要に応じて修正し実施する。 ・2点を超え3点未満の課題は、コメントを参考に実施について再検討する。 ・2点以下の課題は、原則不採用または中止とする。 ●事後評価は、次の基準で採点される。 <ul style="list-style-type: none"> ・5点：計画を上回る成果となった ・4点：計画どおりの成果となった ・3点：おおむね計画どおりの成果となった ・2点：計画を下回る成果となった ・1点：成果が得られていない <p>それぞれの評価コメントを、技術移転や研究立案に役立てていく。 また、評価点は、研究者が自らの研究を客観的に評価するための参考としていく</p>		

(2) 評価対象課題

実施日	対象課題	評価種別
令和5年8月31日	(基盤分野 6テーマ) <ul style="list-style-type: none"> ・マグネシウム合金の表面処理による生体内分解速度制御に関する研究 ・第5世代移動通信システム（5G）用プリント配線基板材料の表面改質に関する研究 ・めっき工場における生産工程データを活用した製品不良原因の検討 ・水素・燃料電池システムの多用途展開に関する研究 ・金属3Dプリンタを活用した高付加価値製品創出に関する研究 ・ポーラス金属材料の射出成形金型への適用 	事後評価
	(基盤分野 1テーマ) <ul style="list-style-type: none"> ・CNF技術を応用した新規和紙製品開発 	中間評価
	(基盤分野 3テーマ) <ul style="list-style-type: none"> ・次世代デバイス用材料評価のための簡便で広帯域な誘電率測定方法の研究 ・水素・燃料電池システムの電動アシスト自転車適用評価 ・CNF複合樹脂の物性評価と射出成形手法の確立 	事前評価

実施日	対象課題	評価種別
令和5年8月30日 (地場分野)	(地場分野 1テーマ) ・デジタルジャカード技術による色彩表現	事後評価
	(地場分野 1テーマ) ・健康志向のパン製造技術の開発	中間評価
	(地場分野 5テーマ) ・はっ水性の評価方法の検討 ・山梨の特徴的な素材を生かした アップサイクル技術の開発 ・3D技術を活用した紙の立体漉きに関する研究 ・山梨県産主要醸造用ブドウの収穫時期がワイン品質に及ぼす影響 ・醸造副産物の成分評価に関する研究	事前評価

(3) 評価結果

①令和4年度に完了した研究課題の事後評価について

令和4年度に研究が完了した7研究課題の事後評価の評点は、地場分野では4.0、基盤分野では3.0～5.0の範囲（平均点3.8）であった。これらについては、今後、評価委員のコメントを参考に技術移転等に努めていく。

②令和6年度に実施する研究課題の事前評価及び令和5年度における中間評価について

事前評価対象8課題の評点は、地場分野では3.3～3.5の範囲（平均点3.4）、基盤分野では3.3～3.5の範囲（平均点3.4）であった。中間評価対象2課題の評点は、すべて4.0であった。平均点が3点以上の課題については、外部評価委員からのコメントを参考に研究を実施・継続することとした。

(4) 委員名簿

基盤分野

氏名	所属	役職
郷健太郎	国立大学法人 山梨大学	教授
平晋一郎	国立大学法人 山梨大学	准教授
青木一樹	キャノンアネルバ株式会社	富士事業所長
小澤一昭	株式会社山梨県環境科学検査センター	代表取締役社長
菊地明久	株式会社長田電材工業	代表取締役社長

地場分野

氏名	所属	役職
奥田 徹	国立大学法人 山梨大学	理事・副学長
中川裕子	学校法人 C2C Global Education Japan 山梨学院短期大学	教授
柳本知一	山梨県貴金属装身具技能士会	理事
中澤智子	一般社団法人 山梨県食品衛生協会	常務理事
小林新司	有限会社テンジン	代表取締役社長

3. 業界との意見交換

業種	業界団体	内容	実施日
食品・酒類	山梨県ワイン酒造組合	(1) 景況について (2) 意見交換	令和5年10月26日
機械電子	一般社団法人 山梨県機械電子工業会	※新型コロナウイルス感染拡大防止 対策として個別訪問により実施	令和5年10月17日
織 維	山梨県絹人織織物工業組合	※各業界団体から、意見交換の場の 要望を確認したうえで実施を判断	令和5年10月30日

技術支援業務

1. 技術相談、現地技術支援の担当別実績

部	担当	技術相談 (件)	現地技術支援 (企業数)	見学者 (名)
企画連携推進部		35	20	202
食品酒類・研磨宝飾技術部	食品酒類・バイオ科	375	98	129
	研磨・宝飾科	292	24	
電子・システム技術部	電子応用科	492	114	181
	システム開発科	428	38	
材料・燃料電池技術部	工業材料科	425	25	0
	化学・燃料電池科	522	31	
機械技術部		718	61	0
デザイン技術部		232	177	170
ワイン技術部		261	58	0
繊維技術部	製品開発科	390	22	27
	技術支援科	154	94	
機械電子技術部	機械電子科	442	21	12
	素材科	308	43	
合計		5,074	826	721

2. 中小企業重点支援事業

(1) テーマ一覧

テーマ	担当	期間
原料開発に関する支援	化学・燃料電池科	R5/4/3 ~ R6/3/29
幾何公差の基礎習得	機械技術部	R5/6/13 ~ R5/8/2
計測機器及び幾何公差の基礎習得	機械技術部	R5/6/30 ~ R5/12/14
摘果もも加工品の微生物抑制方法	食品酒類・バイオ科	R5/7/18 ~ R5/8/31
製造業 DX に向けた試作システムの高度化	システム開発科	R5/8/7 ~ R6/1/11
平面度・平行度の簡易評価装置の開発	素材科	R5/9/25 ~ R6/2/22
ロボットを活用した自動化および省力化に関する検討	システム開発科	R5/10/23 ~ R6/2/26
3DCAD 活用による製品の高付加価値化	デザイン技術部	R6/1/23 ~ R6/2/13
幾何公差の基礎習得	機械技術部	R6/2/22

(2) 担当別実績

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	1	2	1	3	1	0	0	1	9

3. 客員研究員による支援

中小企業の技術及びデザインの高度化を図るとともに、産業技術センターの研究開発力を促進するため、特定分野で専門的な知識を持ち、高度な見識を有する人材を国内外から客員研究員として招聘する。

○食品関連（食品酒類・バイオ科）

氏名 田中 浩（たなか ひろし）
所属 諏訪杜氏
支援概要 日本酒製造分野における技術支援
支援実績

- ・日本酒製造技術の向上に係る研究の推進
- ・日本酒製造分野における職員の人材育成に必要な技術情報の収集
- ・日本酒製造技術に係る課題の解決に必要な技術支援

○ロボット、AI/IoT関連（システム開発科）

氏名 小谷 信司（こたに しんじ）
所属 山梨大学 大学院総合研究部 教授
支援概要 ロボット、AI/IoT等に関する指導・企業支援
支援実績

- ・県内企業への技術支援
- ・技術講習会、出前技術講座での講演
- ・センター職員への研究および技術指導

○オープンイノベーション関連（企画連携推進部）

氏名 角田 義人（つのだ よしと）
所属 (株) ファーストスクリーニング 取締役
支援概要 オープンイノベーションの取り組みに対する指導・企業支援
支援実績

- ・オープンイノベーションによる装置の開発に関する支援
- ・オープンイノベーションによる知財戦略に関する支援
- ・自社製品等の開発・販売に関する支援

○精密測定関連（機械技術部）

氏名 中村 哲夫（なかむら てつお）
所属 CDT研究所 代表
支援概要 幾何公差方式に関する技術支援
支援実績

- ・中小企業重点支援事業による技術支援
- ・県内企業への技術支援
- ・技術講習会、ものづくり人材育成研修、出前技術講座での講演
- ・センター職員への技術指導

○デザイン(デザイン技術部)

氏名 高橋 正実（たかはし まさみ）
所属 (有) マサミデザイン 代表
支援概要 地場産業、伝統工芸の技術・素材の潜在能力の把握～商品開発への展開支援
支援実績

- ・県内企業への技術支援
- ・センター職員への研究および技術指導

○デザイン(デザイン技術部)

氏名 大沼 敦（おおぬま あつし）
所属 (株) 大沼デザインスタジオ 取締役
支援概要 地場産業、伝統工芸の技術・素材の潜在能力の把握～商品開発への展開支援
支援実績

- ・県内企業への技術支援
- ・センター職員への研究および技術指導

○デザイン(繊維技術部)

氏名 家安 香（いえやす かおり）
所属 Edelkoort East (株) / トレンドユニオン日本支社 代表
支援概要 織物産業におけるブランド力の向上
支援実績

- ・やまなし地場産品ブランド化支援事業による総合プロデュース
- ・個別相談支援、合同勉強会等

4. 依頼試験・設備利用等

(1) 実績一覧

項目	依頼試験	依頼加工	設備使用	証明書等交付	合計
件数	3,977	1,186	23,387	82	28,632

(2) 依頼試験の内訳

①項目別

項目	機械金属	精密測定	環境試験	電気電子	化学分析	貴金属・宝玉石	食品・酒類・微生物	ニット・縫製	設計解析	繊維	合計
件数	1,464	336	217	0	324	0	827	38	79	692	3,977

②担当別

部	食品酒類・研磨宝飾技術部	電子・システム技術部	材料・燃料電池技術部	機械技術部	デザイン技術部	ワイン技術部	繊維技術部	機械電子技術部	合計
件数	379	0	999	484	38	601	692	784	3,977

(3) 依頼加工等の内訳

部	食品酒類・研磨宝飾技術部	電子・システム技術部	材料・燃料電池技術部	機械技術部	デザイン技術部	ワイン技術部	繊維技術部	機械電子技術部	合計
件数	1,154	0	0	0	0	0	0	32	1,186

(4) 設備使用の内訳

①項目別

項目	機械設計	工作機械等	電気電子	化学分析	研磨宝飾	食品加工機	繊維	その他	合計
件数	17,433	248	2,314	2,025	639	18	674	36	23,387

②担当別

部	食品酒類・研磨宝飾技術部	電子・システム技術部	材料・燃料電池技術部	機械技術部	デザイン技術部	ワイン技術部	繊維技術部	機械電子技術部	合計
件数	1,270	6,431	7,518	1,807	244	622	691	4,804	23,387

(5) 試験成績証明書交付の内訳

部	食品酒類・研磨宝飾技術部	電子・システム技術部	材料・燃料電池技術部	機械技術部	デザイン技術部	ワイン技術部	繊維技術部	機械電子技術部	合計
件数	10	0	8	0	21	11	0	32	82

(6) その他 (酒母)

項目	件数	担当
酒母	15	ワイン技術部

(7) 設備利用研修会

①一覧

設備	実施日	担当	参加者数
第1回「揮発酸」	R5/6/21	ワイン技術部	14
第2回「アルコール分、比重（密度比重計による分析）」	R5/6/28	ワイン技術部	13
第3回「総酸、pH、ホルモール態窒素」	R5/7/5	ワイン技術部	8
電波暗室（3m法対応）	R5/7/13	電子応用科	33
インピーダンスアナライザ	R5/12/19	電子応用科	7
ベクトルネットワークアナライザ	R6/1/25	電子応用科	5
（公財）JKA 補助事業導入機器 紫外可視近赤外分光光度計	R6/1/25	研磨・宝飾科	6
（公財）JKA 補助事業導入機器 「精密自動試料切断機の操作方法について」	R6/1/18	工業材料科	12
（公財）JKA 補助事業導入機器 レーザー加工機活用セミナーII	R6/1/31	デザイン技術部	10
合計			108

②担当別実績

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数	6 (1設備)	45 (3設備)	12 (1設備)	0 (0設備)	10 (1設備)	35 (3設備)	0 (0設備)	0 (0設備)	108 (9設備)

(8) 設備利用研修（個別）

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数	38	70	0	0	32	12	14	49	215

5. 研究会への支援

食品酒類・研磨宝飾技術部

※参加人数 () はオンライン参加

担当	研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
食品酒類 ・ バイオ科	山梨県食品技術研究会	120	R5/8/9	通常総会	山梨県地場産業センター (かいてらす)	36 (10)
			R5/8/9	特別講演会	山梨県地場産業センター (かいてらす)	36 (10)
			R6/2/6	技術講演会	甲府技術支援センター (降雪のためオンラインのみ)	48 (48)
合計						120

材料・燃料電池技術部

担当	研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
化学 ・ 燃料 電池科	山梨県表面処理研究会	17	R5/5/24	総会	甲府技術支援センター	12
			R5/8/29	合同勉強会	甲府技術支援センター	19
			R5/10/17	県内見学会	米倉山太陽光発電所	12
			R5/11/29	県外見学会	JAXA 相模原キャンパス	6
			R5/12/21	第 37 回研究発表会	甲府技術支援センター	15
			R6/2/9	勉強会	甲府技術支援センター	13
			R6/3/13	役員会	甲府技術支援センター	5
合計						82

機械技術部

研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
山梨県型技術研究会	15	R5/7/28	総会及び講演会	県立図書館	10
		R5/11/29	見学会	JAXA 相模原キャンパス	6
		R5/12/12	会員企業見学会	三浦化成工業(株)	7
合計					23

デザイン技術部

研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
山梨県ニット研究会	17	R5/5/11	役員会	(株)アンドーニット	4
		R5/6/8	総会	甲府技術支援センター	8
		R5/6/8	講習会	甲府技術支援センター	8
		R6/2/9	役員会	(株)アンドーニット	6
合計					26

機械電子技術部

研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
テクノネット「ふじざくら」	32	R5/5/25	幹事会	富士技術支援センター	9
		R5/7/12	総会	富士技術支援センター	14
		R5/7/12	会員紹介および情報交換会	富士技術支援センター	19
		R5/10/18	企業等見学	(株)リガク 太陽日酸(株)	22
		R5/11/10 ～11	山梨テクノ ICT メッセ 2023	アイメッセ山梨	32
		R5/12/18	講演会 異業種のための医療機器ビジネス入門セミナー	富士技術支援センター	16
		R5/12/18	講演会 ものづくりライフサイクルを支える三菱電機のロボティクスとDX	富士技術支援センター	15
		R6/2/16 ～17	視察研修	ファルマバレーセンター 沼津工業技術支援センター 他	11
合計					138

6. やまなしテキスタイルブランド確立強化支援事業

新時代の担い手ネットワーク構築事業

これからの産地を先導する若手従業者が専門家とともに情報交換、ディスカッションを行う場を設け相互のネットワーク構築を支援した。

繊維技術部

テーマ	講師	期日	会場	参加者数
デザインの旅で出会ったモノ・ヒト・コト	鈴木修司(ビームスジャパンディレクター) 鈴木マサル(テキスタイルデザイナー)	R6/2/16	富士技術支援センター	31
フジヤマテキスタイルプロジェクト成果発表展講評会	鈴木修司(ビームスジャパンディレクター)	R6/2/17	FUJIHIMURO	15
生きること、機を織ること、言葉を紡ぐこと	江本伸悟(学者)	R6/3/26	富士吉田市役所 西会議室棟	25

研究開発業務

1. 産学官連携研究の促進

(1) 研究の形態

区分	テーマ数	概要
成長戦略研究	8	やまなし科学技術基本計画に掲げる成長促進分野において、新技術の開発や新産業創出に資する研究
総理研研究	3	山梨県総合理工学研究機構*がコーディネートする産学官連携研究
経常研究	13	技術支援や企業の課題解決等のうえで必要となる研究
競争的資金研究	2	国や特殊法人が公募する競争的資金研究に採択された研究

*山梨県総合理工学研究機構は、県立試験研究機関の人的資源や設備、研究ノウハウを横断的、有機的に連携させ、新しい技術や、新しい産業創出につながる研究開発を行うとともに、産学官の連携を積極的に推進している県の組織

(2) 研究テーマ

①成長戦略研究

県産日本酒の競争力向上のための新規日本酒酵母に関する研究 (R2～R6)

長沼孝多・橋本卓也・兼坂匡人・尾形美貴 (食品酒類・バイオ科)・有泉直子 (食品酒類・研磨宝飾技術部)・北原兵庫 (山梨県酒造組合)・山村英樹 (山梨大学)

分離酵母1、および変異株の分離酵母1-2、1-3を使用して小試験醸造を実施した。その結果、変異株は、親株と比較して製成酒のリンゴ酸含有量が高く、ピルビン酸含有量が低い傾向が認められた。一方、発酵に要する日数は長くなり、低温域で発酵が遅れる傾向があることから、酵素剤の添加や、追水により発酵の補助を行う必要が考えられた。

また、県酒造組合員の酒造用水を7期にわたり採取し分析を実施した。硬度は、ほとんどの採水地で50未満の軟水であった。主成分分析の結果、同じ採水地の結果は比較的近くにプロットされたが、採水の時期による差異は認められず、R2～5においては年間を通じて成分の変動が少ないことが推察された。

高級ノンアルコール飲料の開発 (R3～R5)

尾形美貴・兼坂匡人・長沼孝多 (食品酒類・バイオ科)・有泉直子 (食品酒類・研磨宝飾技術部)・久保田勇 (萌木の村㈱)・輿水精一

本研究では、発酵工程を経たノンアルコール飲料を「高級ノンアルコール飲料」と定義し、その製造技術の確立を目的とした。本報では、独立行政法人製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター (NBRC) から分譲されたマルトース非資化性酵母 *Saccharomyces ludwigii* NBRC 0798 (標準菌株) および NBRC 1721 (甲州ワイン醪から分離) を使用し、日本の酒税法では、酒類に該当しないエタノール含有量が1%未満のアルコール発酵飲料の開発するため、グルコース濃度が0.5%になるように水で希釈した麦芽糖化液を用いて、両菌株で発酵試験を実施した。その結果、0798株と1721株の発酵過程に大きな違いはなかった。また、発酵液中のグルコースは酵母によって1日で完全に資化され、エタノールが生成したが、エタノール含有量が1%未満の発酵飲料を開発できた。

山梨県の新しいブレンド白ワインに関する研究 (R3～R5)

佐藤憲亮・木村英生・小松正和・恩田匠 (ワイン技術部)

ブレンド技術はワインの品質安定化や高品質化に寄与する技術として知られているが、本邦ではブレンド技術に関する検討例は少ない。そこで本研究では、「甲州」を主体とした高品質な山梨県産ブレンド白ワインを開発することを目的に検討を行った。

令和5年度は、令和3年度および令和4年度に試験製造したブレンドワインについて、県内ワイン製造関係者による官能評価を実施した。その結果、‘甲州’と好適な品種として‘デラウェア’（早期収穫）、‘シェンブルガー’、‘ヴィオニエ’が挙げられ、ブレンド比率として‘甲州’：‘その他品種’=70:30程度の比率が高い評価を得た。また、以前の検討から、ブレンド後に混濁が発生する課題を解決するため、オリ下げ処理について検討した。

特定のオリ下げ剤を使用することとし、ブレンドワインの清澄化が可能であることを確認した。以上の結果を踏まえ、県内ワイナリー2社にブレンドワインの製造を委託し、高品質なブレンド白ワインの製造に寄与できることを確認した。

健康志向のパン製造技術の開発（R4～R6）

樋口かよ・橋本卓也・長沼孝多（食品酒類・バイオ科）・有泉直子（食品酒類・研磨宝飾技術部）・芦澤里樹（化学・燃料電池科）

近年、健康志向や地産地消への関心の高まりから、本県の小麦奨励品種である「ゆめかおり」を原料とした小麦全粒粉やふすまを使用したパンの開発が積極的に行われている。そこで、機能性の評価を行うとともに、風味や製パン性を向上できるような製造方法の研究を行った。令和5年度は、山梨県産小麦粉、ふすま、全粒粉（粉碎した小麦原麦）の食物繊維総量を測定し、前年度産と比較した。また、ふすまパンの風味改良を目的として、セルロースナノファイバーや環状オリゴ糖を使用した製パン試験を行った結果、セルロースナノファイバーを添加することにより、ふすま臭が抑制され、製パン性にも影響がないことがわかった。

CNF技術を応用した新規和紙製品開発（R4～R6）

芦澤里樹・宮澤航平・上垣良信（化学・燃料電池科）・塩澤佑一朗（製品開発科）・兼坂匡人（食品酒類・バイオ科）・佐藤博紀（デザイン技術部）・森長久豊（山梨大学）・一瀬清治（市川和紙工業協同組合）・笠井伸二（榎山十製紙）・望月秀一（身延町西嶋和紙の里）

セルロースナノファイバー（CNF）は、植物由来の新素材であり、軽量で高強度、高い乳化特性を有するなど多くの優位性を持つ材料のために産業応用が期待されている。本研究では、CNF応用技術を利用して和紙の耐水性、耐摩耗性を向上し新規和紙製品開発を行うことを目的としている。含浸材、架橋条件やCNFの種類が湿潤強度および摩擦強度に与える影響について網羅的に検討を行った。処理条件によって摩擦強度のみが向上し湿潤引張強度には影響がない条件がある一方で、摩擦強度だけでなく湿潤引張強度も向上させる処理条件もあり、その場合にはCNF添加でより効果的になることが明らかになった。

マグネシウム合金耐食性皮膜の高品質化に関する研究（R5～R7）

鈴木大介・石田正文（工業材料科）・佐野正明（機械技術部）・三井由香里（総合相談・連携推進科）・長田和真（企画・情報科）・宮澤航平（化学・燃料電池科）・野坂洋一（榎グローバルマグネシウムコーポレーション）・西野創一朗（茨城大学）

マグネシウム合金は実用金属中最も軽量であるため、省エネルギー・低炭素社会の実現において、輸送機器分野では軽量化部材として非常に注目されている。しかし、非常に活性で、腐食しやすいことから、実用には耐食性を向上させることが求められる。これまでに産業技術センターでは、マグネシウム合金表面に耐食性を示す水酸化皮膜に関する研究を行っており、従来よりも低温で皮膜を形成することに成功している。しかし、マグネシウム合金 casting 材に対して耐食性皮膜を形成すると、外観に部分的なムラが発生する現象が発生している。マグネシウム casting 材は大量生産に適しており、 casting 材の実用部品に対して水酸化皮膜を適用するためには、ムラのない均一な膜の形成が必要である。そのため、本研究は水酸化皮膜のムラの発生原因について系統的に調査することを目的とする。

NC制御による局所的ピーニング処理法の研究（R5～R6）

米山陽・西村通喜・早川亮（機械技術部）・清水毅・孕石泰丈（山梨大学）

機械部品の表面に引張残留応力が存在すると疲労強度の低下や応力腐食割れの要因になることが知られている。そのためショットピーニング処理など表面改質を行う場合があるが、微細形状やポケット形状の中など、投射材による処理が適さない場合もある。そこで投射材を使用せず局所的に表面改質を行う新たな手法が可能となれば、微細金型や医療器具などへの適用が期待される。本年度は新たな手法として、NC加工機であるマシニングセンタを使用した、超音波振動とボールエンドミルの切削刃逃げ面を利用した手法を考案し、加工面に圧縮残留応力の付与が可能であるか基礎的な実験を行った。その結果、超音波振動を付与した条件でかつボールエンドミルを逆回転で処理した場合において、圧縮残留応力が増大し、材料表層の硬度が高くなることがわかった。

ダイカスト金型の高機能化に関する研究 (R5~R6)

萩原義人・寺澤章裕 (素材料) ・佐野正明・早川亮 (機械技術部) ・石田正文・鈴木大介・深澤郷平 (工業材料科) ・古屋雅章 (機械電子科) ・平晋一郎 (山梨大学) ・田中隆三・吉田光慶 (㈱松浦機械製作所) ・井上幸一郎・奥村鉄平 (大同特殊鋼㈱)

ダイカスト金型は、高温で溶融された金属が高速で流入されるため、金型表面の溶損や熱疲労によるヒートチェックの発生等が長年の問題となっている。そこで本研究では、高品質なダイカスト金型を作製することを目的として、金属3Dプリンタによる試作検討ならびに各種評価を行った。

今年度は、最終年度の実証試験に用いるダイカスト金型を造形する際の最適な条件について調査することを目的として、各種造形および評価を行った。その結果、走査速度が速くなるほど表面粗さ値が増大 (悪化) すること、残留応力は、ほとんどの走査速度で100MPa以下であり、造形物を変形させるほどの数値ではないこと、密度は、走査速度が700mm/sec以上の試験片において、走査速度が速くなるほど低下することが確認できた。

以上の結果から、金属粉末材料LTXをレーザ出力200Wで造形する場合、高密度で変形の可能性が低い500mm/sec近辺の条件が最適な造形条件であることが確認できた。

②総理研究

山梨県固有のデザインソースの集積と「山梨らしさ」を付加価値とした製品等の開発に関する研究 (R3~R5)

串田賢一・佐藤博紀 (デザイン技術部) ・秋本梨恵 (技術支援科) ・中村卓・保坂響 (システム開発科) ・郷健太郎・木下雄一朗 (山梨大学) ・近藤暁子・小畑茂雄・丸尾依子・海老沼真治・中野賢治・松田美沙子・茶園紘己 (県立博物館) ・齊藤初美 (県立文学館)

本県の地域、地場製品のブランディングをデザインの視点から推進するため、①地域固有のデザイン資源の掘り起こし~コンテンツ化~デザインデータベースづくり、②付加価値の源泉となる「山梨らしさ」の構成要素の解明、③「山梨らしさ」を織り込んだ新たな名産となる地場製品の試作開発の3点に取り組んだ。

①地域に古くからある店舗看板、甲州文庫の取材・実見調査により661点の資料を高精細にデジタルデータ化した。また、デザインデータを流通させるためのデータベース「YAMANASHI DESIGN ARCHIVE」を令和5年10月から一般公開した。

②人文科学、感性工学、深層学習の3つの角度から調査・研究を進め、表層・基層の二つの「山梨らしさ」の存在を確認、「山梨らしい」として好意的な評価を最大にするための景観要素の組み合わせの解明、画像の山梨らしさを評価するAIモデルの評価精度の向上といった成果を得た。

③山梨の生活の中にありそうでなかったプロダクトとして、「ほうとう用鉄鍋」「ハンドジューサー」の2点をデザインし、試作品を完成させた。

富士山噴火の減災に資する実験教材の開発 (R4~R6)

五十嵐哲也・秋本梨恵 (技術支援科) ・吉本充宏・久保智弘・石峯康浩・本多亮・西澤達治・古屋和仁・篠原良典・内山高・三ツ井聡美 (富士山科学研究所) ・酒井慎一 (東京大学) ・内山美恵子 (都留文科大) ・秦康範 (山梨大学) ・横山光 (北翔大学) ・アディオ㈱

富士山において噴火発生時に、被害を軽減するための要素の一つとして地域住民が主体的に行動できる能力 (地域防災力) を向上させることが挙げられる。本研究では、知識の学習に基づいて主体的に行動することのできる災害に強い小中学生の育成に資する、災害に関する実験教材の開発を行う。これらの教材を活用して児童、教員、親世代の火山知識を向上させることにより減災を目指す。当センターでは研究のうち主に実験装置の設計、デザイン、改良について取り組んでいる。噴煙実験装置を使用した教員による研究会および勝山小学校での防災授業において実験装置の組み立て~実験の様子を観察し、課題を抽出した。設計や素材の検討を行い、改良点を反映した試作を複数制作、組み立て~実験の検証を行った。また装置の組み立て方法を分かりやすく伝える説明資料案を作成している。

林業重機「フォワード」の無人運転化に関する研究 — 整地における無人自動運転化技術の確立 — (R5~R7)

保坂響・布施嘉裕・中村卓 (システム開発科) ・小澤雅之・大地純平 (森林総合研究所) ・古屋五嗣・小幡俊郎 (古屋製材㈱)

近年、気候変動の緩和や環境保全の観点から、林業が重要視されているが、人材不足、高齢化、労働災害の多発が問題となっている。本研究は、伐採した木材を運搬する林業用重機「フォワード」について、林地での自動運転化を最終目標とし、第一段階として整地でのフォワード自動運転の実現を目指す。

R5年度は、フォワードの電子制御化とクローラロボットによる自動運転実験を実施した。具体的には、2個のサーボモータによりフォワードの前後進および旋回操作を実現するとともに、これらのサーボモータをドローン

用コントローラで制御し、10m離れた地点での遠隔運転を実現した。また、フォワーダに搭載したシステムと同様の構成となる自動運転実験用のクローラロボットを製作した。一辺約6mの矩形経路を自動運転させた結果、指令経路とRTK (Real Time Kinematic) 測位で計測した走行軌跡との差 (偏差) は最大0.5mであった。

③経常研究

磁気バレル研磨機の加工能力向上に関する研究 (R3~R5 (R4休))

宮川和博・佐野照雄・佐藤貴裕 (研磨・宝飾科) ・有泉直子 (食品酒類・研磨宝飾技術部) ・平晋一郎 (山梨大学) ・松本一雄 (協同組山梨県ジュエリー協会)

近年、宝飾業界では従来よりも硬質な金属を用いた装身具が増加傾向にある。このような装身具は、傷がつきにくい、爪や石枠を細くして石がより見えやすくすることができる、華奢なデザインを採用することができる等のメリットがある一方で、磁気バレル研磨等の加工がしにくいというデメリットがある。市販装置を用いたこれまでの研究により、水流の発生が加工能力低下の原因のひとつであることがわかったため、本研究では水流を抑制し加工能力を向上させるための磁石配置および研磨条件を品質工学におけるパラメータ設計を用いて検討した。その結果、従来の条件よりも加工能力の高い磁石配置および加工条件を見出すことができた。

プラスチック材料の耐候性における水噴霧の影響 (R3~R5)

尾形正岐 (製品開発科) ・古屋雅章・渡邊慧輔・勝又信行 (機械電子科)

耐候性試験機で屋外暴露を再現する試験条件を見出すために研究を行った。代表的なプラスチック材料 (ABS、PP、PC) の試験片でメタルハライドランプ式耐候性試験機 (以下、メタハラと略記) による照射と屋外暴露を行った。メタハラによる照射は、照射のみ行った後に照射とともに水噴霧を行うサイクルとした。試験片の色差、引張強さと衝撃値を測定し、屋外暴露年数と測定値の関係および照射時間と測定値の関係を求めた。そしてメタハラによる照射の場合の屋外暴露に相当する照射時間を推定した。色差については屋外暴露1~4年に相当する照射時間を推定でき、屋外暴露を再現する試験条件を見出すことができた。引張強さと衝撃値については屋外暴露に相当する照射時間を推定できない場合があり、試験条件を見出すことができなかった。屋外暴露が再現できなかったのはメタハラによる照射では屋外暴露ほどクラック生成が促進されなかったためと考えられる。

EMI試験における特性改善に関する研究 (R4~R5)

清水章良・木島一広・萩原茂・富永裕輝 (電子応用科)

電子機器から放射される電磁波を測定するEMI試験において、信頼性の高い測定を実現することを目的として以下の二つのことを試みた。

電磁波を受信するアンテナと測定器を接続する金属製の高周波ケーブルを光ファイバーに置き換えることを試みた。光伝送ユニットと光ファイバーを使用して、電波暗室のGHz帯の周波数特性を評価する手法であるSVSWR測定を行い、メタルケーブルとの比較を行った。

また、試験対象に電源を供給するための電源ケーブルによる影響を低減するために、CMADやVHF-LISNを用いてLED照明の放射電磁波の測定結果に与える影響を調査した。

バナジウム染色加工製品の高品質化に関する研究 (R4~R5)

上垣良信・宮澤航平・芦澤里樹 (化学・燃料電池科) ・塩澤佑一朗・望月威夫 (製品開発科) ・佐藤哲也 (山梨大学)

当センターでは、染色工程でバナジウム (V) 化合物を添加することにより、天然繊維に光吸収発熱保温機能を付与する染色技術を開発してきた。この技術は既に特許を取得し、県内企業により従来の合成繊維では実現できない高い機能を有した新製品開発に活用されているが、調色の容易化や機能性の更なる向上が喫緊の課題となっている。製品の色や機能性は、繊維上のVの化学構造が大きく関与している可能性がある。そこで本研究では、TEMPO酸化した繊維構造の明らかな改質レーヨンを基材として、アミン化合物を結合させたレーヨンを作製した。繊維上に担持されたV化合物の化学構造を電子スピン共鳴分析法で調べ、繊維の色および機能性を比較検討した。その結果、染料の化学構造制御を行うことで、課題 (調色の容易化と機能性の向上) を解決できる可能性が示された。

宝石鑑別支援ツールの開発 (R5~R6)

佐藤貴裕・宮川和博・佐野照雄(研磨・宝飾科)・中村卓(システム開発科)・有泉直子(食品酒類・研磨宝飾技術部)・笠原茂樹・小泉一人(宝石貴金属協会)・高橋泰(宝石美術専門学校)・古屋正貴(日独宝石研究所)・松本一雄(協同組山梨県ジュエリー協会)

宝石の産地情報は価格を左右する重要な要素であり、産地鑑別はLA-ICP-MSによる微量元素定量分析や、光学顕微鏡によるインクルージョン(内包物)の観察等によって行われている。しかし、特に光学顕微鏡による観察は豊富な経験が必要であり、作業者の経験年数等によって誤判別を生じる可能性がある。本研究では、インクルージョン観察においてより客観的かつ安定した判別を可能とするため、機械学習によるルビー中のインクルージョンの自動検出について検討した。

本年度は光学顕微鏡により天然ルビーを観察し、計123枚のインクルージョン画像を収集した。これをインクルージョンの形態から3種類に分類し、物体検出アルゴリズムの一種であるYOLOにより学習した。学習結果を用いてテスト画像の評価を行ったところ、全体の正解率はおよそ60%であった。

AI検査に適した検査環境構築に関する研究 (R5~R6)

中村卓(システム開発科)

製造現場において、検査工程の省力化や高効率化のためにAIやIoT技術の導入に注目が集まっているが、検査環境(環境光の有無、照明の当て方、対象物の設置位置及び使用するカメラの性能など)や検査手法によって精度に差が発生するなどの問題がある。AI技術においても、AIを作成するためには大量のデータが必要なことが多いため、短期間での事前検証が難しい。これらの問題に関して知見が少ないことも課題としてあるのが現状である。

本研究では、事前検証の際に高精度かつ安定したAI検査を行うために、適切な環境構築方法や、検査環境の各要因が精度に与える影響などについて検証を行う。環境構築の検証と並行し、適切なAIの検査手法や精度向上のための方法についても検証を行う。

マグネシウム合金鋳造時の金型不具合に関する研究 (R5~R6)

長田和真(企画・情報科)・鈴木大介・石田正文(工業材料科)・佐野正明(機械技術部)

省エネルギー・低炭素社会の実現がさまざまな分野において求められている。輸送機器分野では、従来のアルミニウム合金製の部品から実用金属の中で最も軽いマグネシウム合金を用いた部品への転換が加速している。

マグネシウム合金は冷間での成型が困難であるため大量生産にはダイカストが適しているが、マグネシウム合金の反応性の高さが原因で金型トラブルが多く、量産化においては大きな課題となっている。そこで、金型に発生する焼付きや溶損、ヒートチェックなどの不具合を再現し、知見を得ることで金型に発生する不具合の低減・防止策へのアプローチをすることを目的に研究を実施した。

研究初年度に当たる令和5年度は、金型に発生する不具合を再現するため、ピン状の模擬金型を利用した方法と板状の模擬金型を利用した方法の2種類の方法を検討した。このうち、板状の模擬金型を利用する方法により金型表面に発生する不具合に近い現象を再現することに成功した。

トポロジー最適化解析による製品の高付加価値化に関する研究 (R5)

坂本智明・石黒輝雄・米山陽(機械技術部)・古屋雅章(機械電子科)

近年、製品の強度や軽量化を同時に満たす製品設計が増えてきているが、従来の解析結果により応力や変形量を比較・評価だけでなく、製品の強度を満たす最適形状を抽出するトポロジー最適化解析を行うケースが増えている。本研究ではトポロジー最適化解析による設計時の効率化を目的とし、設計対象として軽量かつ高周波数域まで使用可能な振動試験治具の設計開発を行った。

トポロジー解析時における、ボルトの締結力、治具へ搭載する製品の質量の割合を変えることで解析結果に影響を及ぼすことがわかった。これらの影響を考慮して治具の形状を作成したところ、既存のメーカー製立方体治具では、振動試験時に2000Hz手前で共振が生じるため試験を行うことが難しかったが、新たな治具により、最大2600Hzまでの試験が可能となった。

三次元座標測定機の定期管理方法についての研究 (R5~R6)

西村通喜・小松利安・早川亮・米山陽(機械技術部)・中村哲夫(CDT研究所)

三次元座標測定機は製品の表面の座標を測ることにより、ワークの寸法、種々の幾何偏差及び幾何公差の検証が行えるために、多くのものづくり企業において日常的に活用されている。三次元座標測定機の信頼性評価の考え方・測定実験の方法・測定データの解析法などの研究を行い、簡易な測定ゲージを測定することにより、三次元座標測定機の精度管理を行うことを目的とする。

本年度は、シャフト先端に球がついた簡易的なゲージを用い、三次元座標測定機の測定領域内に様々な場所に設置し、球中心の空間的な距離を三次元座標測定機で測定し、評価を算出することにより、SN比を求め、その値の大小で測定機の信頼性を算出することができた。また、可搬性が高く、三次元測定上で様々な姿勢を保つことのできる簡易ゲージと設置治具を作製した。

パラメトリックデザインの地場産業への活用に関する研究 (R5～R6)

鈴木文晃・佐藤博紀・串田賢一 (デザイン技術部)

本県の地場産業である宝飾品製造で行われているCADを用いたモデリングにおいて、製品デザインの高度化のためのパラメトリックデザイン (PD) 手法の活用について研究を行った。RhinoCeros上でPDを行うGrasshopperの機能を使用し、宝飾品モデリングへのPD手法の適用と効果について検討した。その結果、サンプル宝飾品のモデリングにおいて、PD手法は従来の手法と比較してモデリング後のデザイン変更作業における工程数を大きく減らせることや、繰り返しパターンによるデザインやランダム性を用いたデザイン制作において従来の手法から作業の効率化ができることが分かった。

デジタルジャカード技術を応用したテキスタイル開発 (R5～R7)

秋本梨恵・五十嵐哲也 (技術支援科)

郡内織物産地は先染め織物産地であり、特に織り組織で柄を表現するジャカード織はインテリアやネクタイ、婦人服地等に広く用いられている。当センターでは山梨大学との共同研究によりデジタルジャカード技術によるジャカード表現方法を研究開発し、滑らかなグラデーションの階調表現を可能とする特許を取得、この特許技術について産地企業での活用が進んできている。実際の市場に向けて企業での技術活用が進むにつれて、2次元的な階調表現に加えて、凹凸感や立体感を付加した、より高付加価値なテキスタイルへの応用が求められてきている。本研究では、これまでに開発されてきたジャカード組織生成手法を活用して、より高付加価値なテキスタイル開発に役立てるため、凹凸感や立体感を付加するための設計手法について検討を行い、様々な糸素材を用いて生地を試作開発する。また試作生地について物性等の評価を行う。

多軸ロボットの耐久試験への適用とその評価 (R5～R6)

勝又信行・古屋雅章・渡邊慧輔 (機械電子科)・萩原義人・寺澤章裕・望月陽介 (素材料)

機構部品や製品の強度試験や耐久試験には、一軸式の材料試験機で行うのが一般的であるが、耐久試験などの繰り返し試験では、大きな試験力は必要とせず、動きだけを要求されることも多い。

近年、生産現場では、多軸の協働ロボットの導入が進んでいる。多軸ロボットは、様々な生産現場に対応するため、多軸をもち、複雑な動きを実現できる。この複雑な動きを再現できる多軸ロボットを耐久試験に利用できれば、これまでの試験機では実現できなかった多くの試験に対応できるようになる。

そこで、本研究では、多軸ロボットを耐久試験への適用を検討した。

令和5年度は、ウェットティッシュケースの蓋の開閉動作試験、デジタルカメラのバッテリー動作耐久試験を試み、多軸ロボットでこれらの試験ができることを確認した。

金属積層造形条件と造形物の機械的特性に関する研究 (R5～R7)

寺澤章裕・望月陽介・萩原義人 (素材料)・勝又信行・古屋雅章・渡邊慧輔 (機械電子科)・早川亮 (機械技術部)・田中隆三・加納佳明・岩尾翔太 (榑松浦機械製作所)・孕石泰丈 (山梨大学)

金属 3D プリンタの様式の一つである粉末床熔融結合法は、粉末材料の敷き詰めと熔融・凝固を繰り返しながら立体造形物を造形する方式である。中でも、粉末材料の熔融にレーザーを使用するタイプは、導入事例も多く、医療・航空・自動車等様々な分野において活用が期待されている。しかし、この様式で造形する場合、レーザー条件 (レーザーパワー・レーザー走査速度など) や積層ピッチなど多岐にわたる条件から、造形条件を選定して造形を行う必要がある。そのため、造形条件・造形物の形状によって、内部応力や空隙の発生などに影響が生じ、その結果、強度等の物性に差が生じると考えられる。本研究では、金属積層条件 (主にレーザー走査速度) の違いによる造形物の特性を評価することを目的として、強度試験などを実施している。

④競争的資金研究

難燃性マグネシウム合金ダイカストによる自動車用大型部材製造技術の開発 (R4~R6)

佐野正明 (機械技術部)・鈴木大介 (工業材料科)・宮澤航平 (化学・燃料電池科)・長田和真 (企画・情報科)・三井由香里 (総合相談・連携推進科)・松本敏治 (㈱戸畑製作所)・千野靖正 (産業技術総合研究所)・行武栄太郎 (茨城県産業技術イノベーションセンター)

難燃性マグネシウム合金ダイカストによる 16 インチホイールの製造技術を開発するとともにホイールに最適化した難燃性マグネシウム合金のリサイクル材使用率等を含めた実用材料としての特性評価を実施した。本研究において山梨県産業技術センターでは、試作したホイールおよび部材の耐食性の評価を行った。また、耐食性を高めるために山梨県産業技術センターで開発した表面処理 (特許第 6302696 : マグネシウム合金の表面処理方法) を試作ホイール等に適用し、本表面処理が与える影響について評価した。

耐食性試験 (塩水噴霧試験 240 時間) を行った結果、重力 casting した AEX800 金型 casting および砂型 casting は、ダイカスト casting した試験片に比べ低圧 casting であるため、耐食性は悪くなる傾向を示した。また今回の試験では合金材料 AEX610 に比べ合金材料 AEX500 の方が重量増加割合は低く、耐食性は良好となる結果が得られた。それぞれの合金において casting 方法による影響は少なく、表面処理を施すことで耐食性は向上することが確認できた。


燃料電池等利用の飛躍的拡大に向けた共通課題解決型産学官連携研究開発事業/共通課題解決型基盤技術開発/燃料電池に関する電気化学的特性測定技術の研究開発 (R2~R6)



三神武文・川本鉄平・小林誉・加賀爪広・穴水弘一・平賀庸子 (化学・燃料電池科)・山田博之 (材料・燃料電池技術部)・岩間貴司 (甲府技術支援センター)・技術研究組合 FC-Cubic

NEDO の燃料電池事業では、材料開発テーマと別に開発材料を評価する PEFC 評価解析プラットフォームを構築している。当センターは評価解析プラットフォームの電気化学特性評価を担当しており、新規開発材料 (主に電極触媒、電解質膜) を共通の MEA 発電評価方法で評価解析している。材料開発機関が目指す開発目標の達成度をフィードバックし、更に標準的な MEA 材料と比較することで開発材料の立ち位置 (比較性能) を明確にして材料開発機関に技術課題・改善の方向性を提示することを目的に取り組み、R5 年度は 15 機関の約 60 材料を評価した。

2. 産業財産権の取得状況

(1) 産業財産権（県単独）

種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者
特許	5948551 (H28/6/17)	2014-022852 (H26/2/7)	装身具用合金	宮川和博 有泉直子 望月陽介 鈴木文晃 清水 進
	6711983 (R2/6/2)	2015-232550 (H27/11/29)	光電界センサおよび電磁界計測装置	木島一広 萩原 茂 河西伸一 河野 裕 阿部 治 清水章良 中村 卓
	6716808 (R2/6/15)	2017-055305 (H29/3/22)	表示具と果実の生産方法	佐藤博紀 萩原栄揮 池田博彦 富田 晃
	6792108 (R2/11/10)	2019-569988 (H31/4/23)	光吸収発熱保温用複合体とその製造方法	上垣良信 阿部 治 塩澤佑一朗
	6823824 (R3/1/14)	2016-171295 (H28/9/1)	マイクロ流体デバイス	山田博之 西村通喜 長田和真 阿部 治 尾形正岐 高尾清利
	6980238 (R3/11/19)	2020-88529 (H31/4/23)	光吸収発熱保温用複合体	上垣良信 阿部 治 塩澤佑一朗
	7345773 (R5/9/8)	2019-057866 (H31/3/26)	ワックス模型及びその作製方法	林 善永 神藤典一 宮川和博 小松利安 有泉直子
	7309143 (R5/7/7)	2019-057867 (H31/3/26)	ワックス模型の作製方法	林 善永 神藤典一 宮川和博 小松利安 有泉直子
商標	5421791 (H23/7/1)	2011-001192 (H23/1/12)		五十嵐哲也 上垣良信
	6138451 (H31/4/19)	2018-165529 (H30/12/21)	URUSHINASHIKA	串田賢一

種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者
商標	6138452 (H31/4/19)	2018-165530 (H30/12/21)		串田賢一
	6278668 (R2/8/11)	2019-108323 (R1/7/25)		佐藤博紀
意匠	1578913 (H29/5/19)	2013-023371 (H25/10/4)	塗り絵用紙	串田賢一

(2) 産業財産権 (共同出願)

種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者	共有権者
特許	4444162 (H22/1/22)	2005-149471 (H17/5/23)	鋼材の熱処理方法および熱処理装置	八代浩二 清水誠司 鈴木大介	浅川熱処理(株) (株)丸真熱処理工業
	5396579 (H25/11/1)	2007-530913 (H18/3/16)	酸化亜鉛薄膜の製造方法及び製造装置	今津千竹 萩原 茂 木島一広 阿部 治	山梨大学 (株)中家製作所
	6152520 (H29/6/9)	2014-094992 (H26/5/2)	ジャカード織物パターンの生成方法、装置およびプログラム	五十嵐哲也 秋本梨恵	山梨大学
	6302696 (H30/3/9)	2014-025174 (H26/2/13)	マグネシウム合金の表面処理方法	八代浩二 佐野正明 三井由香里 坂本智明	権田金属工業(株)
	6306437 (H30/3/16)	2014-113615 (H26/5/31)	縦型成膜装置	萩原 茂 河野 裕 早川 亮 星野昌子	山梨大学 (株)中家製作所
	6746830 (R2/8/11)	2016-15779 (H28/1/29)	ジャカード織物多色織パターン の生成方法、装置およびプログラム	五十嵐哲也	山梨大学

種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者	共有権者
特許	7085731 (R4/6/9)	2018-042581 (H30/3/9)	発酵ゆば食品	小松正和 木村英生 佐藤憲亮	望月五夫
	7228139 (R5/2/15)	2019-86340 (H31/4/26)	白色革の製造方法	串田賢一 渡辺 誠	(有)レオン・インター ナショナル
	7399410 (R5/12/8)	2020-012516 (R2/1/29)	硬化性樹脂組成物、硬化体、セルロースナノフ ァイバー材料、及びセルロースナノファイバー 材料の製造方法	芦澤里樹	山梨大学

(3) 産業財産権 (海外特許)

種別	登録番号 (登録日)	登録国	名称	発明者	共有権者
特許	US7744965B2 (H22/6/29)	米国	酸化亜鉛薄膜の製造方法及び製造装置	今津千竹 萩原 茂 木島一広 阿部 治	山梨大学 (株)中家製作所

(4) 産業財産権出願中 (県単独)

種別	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	名称	発明者
特許	2020-176430 (R2/10/21)	2022-067707 (R4/5/9)	手術器具	山田博之 阿部 治 西村通喜 高尾清利
	2021-006211 (R3/1/19)	2022-110667 (R4/7/29)	磁気バレル研磨方法	林 善永 宮川和博 小松利安 有泉直子 平晋一郎
	2023-042428 (R5/3/16)	—	パンの製造方法、生地 <small>の</small> 製造方法、小麦粉焼成物 <small>の</small> 製造方法およびパン	樋口かよ 橋本卓也 長沼孝多 有泉直子 芦澤里樹
	2024-37447 (R6/3/11)	—	(公開まで名称非公表)	宮澤航平 芦澤里樹 上垣良信 花形 保

(5) 産業財産権出願中（共同出願）

種別	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	名称	発明者	共有権者
特許	2020-173626 (R2/10/14)	2022-064790 (R4/4/26)	耐水紙の製造方法および耐水紙	芦澤里樹	(有)山十製紙 身延町
	2022-079503 (R4/5/13)	2023-167941 (R5/11/24)	伸線加工方法及び鋼線	長田和真 石田正文 鈴木大介 阿部 治 佐野正明 深澤郷平	(株)降矢技研
	2022-133714 (R4/8/25)	2024-030672 (R6/3/7)	マグネシウム合金の表面改質方法	八代浩二 佐野正明 三井由香里 鈴木大介	(株)グローバルマグネシ ウムコーポレーション

(6) 産業財産権出願中（海外特許）

種別	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	名称	発明者	共有権者
特許	PCT/JP2024/ 004133 (R6/2/7)	-	(公開まで名称非公表)	望月陽介 八代浩二	(公開まで非公表)

3. 課題対応受託研究

企業が新技術・新製品の研究開発等を行う際に、実施が困難な課題について、専門知識を持つ職員が、センターの所有する設備や機器を利用し当該課題解決のために研究を行った。

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイヤ 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	0	0	2	1	1	1	1	2	8

4. 業績発表

(1) 口頭発表(学会等)

題名	発表者氏名(所属)	発表学会名	会場	期日
表面処理による溶湯難燃 Mg-Al-Ca-Mn-Mm ダイカスト合金 の耐食性向上	佐野正明(機械技術部)・八代浩二(成長産業推進課)・三井由香里(総合相談・連携推進科)・鈴木大介(工業材料科)・松本敏治((株)戸畑製作所)・野坂洋一((株)グローバルマグネシウムコーポレーション)・千野靖正(産業技術総合研究所)・行武栄太郎(茨城県産業技術イノベーションセンター)	(一社)軽金属学会第144回春期大会	香川大学 幸町キャンパス	R5/5/12~14
溶湯難燃マグネシウム合金の材料特性	行武栄太郎(茨城県産業技術イノベーションセンター)・佐野正明(機械技術部)	(一社)軽金属学会第144回春期大会	香川大学 幸町キャンパス	R5/5/12~14
溶湯難燃マグネシウム合金を用いた自動車用ダイカストホイールの開発	松本敏治(戸畑製作所)・松本大毅(戸畑製作所ターレット)・野坂洋一((株)グローバルマグネシウムコーポレーション)・千野靖正(産業技術総合研究所)・行武栄太郎(茨城県産業技術イノベーションセンター)・佐野正明(機械技術部)	(一社)軽金属学会第144回春期大会	香川大学 幸町キャンパス	R5/5/12~14
溶湯難燃 Mg-Al-Ca-Mn-Mm ダイカスト合金の耐食性評価	中津川勲(産業技術総合研究所)・佐野正明(機械技術部)・行武栄太郎(茨城県産業技術イノベーションセンター)・野坂洋一((株)グローバルマグネシウムコーポレーション)・松本敏治((株)戸畑製作所)・千野靖正(産業技術総合研究所)	(一社)軽金属学会第144回春期大会	香川大学 幸町キャンパス	R5/5/12~14
水酸化皮膜形成によるマグネシウム合金の耐食性向上技術の開発	佐野正明(機械技術部)・鈴木大介(工業材料科)	(一社)表面技術協会アノード酸化皮膜の機能化部会(ARS部会)第111回例会	南部労政会館	R5/6/13
耐候性試験機により照射を行ったポリプロピレンの劣化評価	尾形正岐(製品開発科)・望月陽介(素材科)・古屋雅章(機械電子科)・寺澤章裕(素材科)・勝又信行(機械電子科)・長田和真(企画・情報科)・阿部治(工業材料科)・八代浩二(成長産業推進課)・石黒輝雄(機械技術部)・山田博之(材料・燃料電池技術部)	プラスチック成形加工学会第34回年次大会	タワーホール船堀	R5/6/21~22

題名	発表者氏名(所属)	発表学会名	会場	期日
耐候性試験機による促進劣化試験と屋外暴露との相関性ーポリカーボネートの色差と強度についてー	尾形正岐(製品開発科)・花岡寿明・青柳将・佐藤浩昭(産業技術総合研究所)	マテリアルライフ学会 第34回研究発表会	大阪大学大学院 理学研究科南部 陽一郎ホール	R5/7/6~7
ピーニング加工したマグネシウム合金の残留応力形成挙動	鈴木大介(工業材料科)・佐野正明(機械技術部)・三井由香里(総合相談・連携推進科)・八代浩二(成長産業推進課)	(公社)日本材料学会 第57回X線材料強度に関するシンポジウム	県立図書館	R5/7/20~21
難燃性マグネシウム合金の耐食性向上に関する研究(第3報)ー自動車部品への適用についてー	佐野正明(機械技術部)・八代浩二(成長産業推進課)・鈴木大介(工業材料科)・三井由香里(総合相談・連携推進科)	(一社)表面技術協会 第148回講演大会	山形大学 米沢キャンパス	R5/9/4~5
超音波援用ボールエンドバニシングー SUS316L 積層造形材と同圧延材の比較ー	眞道夏輝・清水毅(山梨大学)・米山陽・石黒輝雄(機械技術部)	(一社)日本機械学会 関東支部山梨講演会 2023	オンライン発表	R5/11/25
繊維上のバナジウム化合物の構造変化による光吸収発熱性への影響	宮澤航平・上垣良信・芦澤里樹(化学・燃料電池科)・塩澤佑一朗(製品開発科)・佐藤哲也(山梨大学)	(一社)繊維学会 第59回染色化学討論会	京都テルサ	R5/11/27
NEDO PEFC 評価解析プラットフォームでの発電評価プロトコルと市販触媒評価	三神武文・小林誉(化学・燃料電池科)・大丸明正(管理・連携推進センター)	第64回電池討論会	大阪府立国際会議場	R5/11/28
市販メソポーラスカーボンに担持したPt触媒の発電特性に対する触媒インク組成の影響	小林誉・三神武文(化学・燃料電池科)・大丸明正(管理・連携推進センター)	第64回電池討論会	大阪府立国際会議場	R5/11/28
プラスチック材料の耐候性評価に関する研究	尾形正岐(製品開発科)	令和5年度ウェザリング技術研究成果発表会	東京国際フォーラム	R5/11/29
溶湯難燃マグネシウム合金の耐食性向上技術開発と山梨県におけるマグネシウム研究の紹介	佐野正明(機械技術部)	(一社)日本マグネシウム協会技術講演会	機械振興会館	R5/12/15
‘甲州’の果皮色および醸し発酵条件がオレンジワイン品質に及ぼす影響	小松正和・佐藤憲亮・木村英生・恩田匠(ワイン技術部)	日本ブドウ・ワイン学会 2023 名古屋大会	名城大学	R5/12/16~17

題名	発表者氏名(所属)	発表学会名	会場	期日
山梨県勝沼地域のテロワール解析	賀茂翔也・松坂浩志(勝沼ワイン協会、MGVs ワイナリー)・恩田匠・佐藤憲亮・木村英生(ワイン技術部)・田村隆幸(シャトー・メルシャン)・古屋真太郎(勝沼ワイン協会、原茂ワイン(株))	日本ブドウ・ワイン学会 2023 名古屋大会	名城大学	R5/12/16~17
国産ワイン製造機器開発の試みー自動ルミアージュ装置の試作ー	恩田匠(企画連携推進部)・山田博之(材料・燃料電池技術部)・高尾清利(管理・連携推進センター)・岩間貴司(甲府技術支援センター)・吉村千秋(富士技術支援センター)新藤淳・武川登・越石英史(藤精機(株))・松坂浩志((株)塩山製作所(MGVs ワイナリー))	日本ブドウ・ワイン学会 2023 名古屋大会	名城大学	R5/12/16~17
SUS316 材へのボールエンドミルによる超音波ピーニング加工(第1報)	米山陽・石黒輝雄(機械技術部)・眞道夏輝・孕石泰丈・清水毅(山梨大学)	2024 年度(公社)精密工学会春季大会学術講演会	東京大学 本郷キャンパス	R6/3/12~14
SUS316 材へのボールエンドミルによる超音波ピーニング加工(第2報)	眞道夏輝・孕石泰丈・清水毅(山梨大学)・米山陽・石黒輝雄(機械技術部)	2024 年度(公社)精密工学会春季大会学術講演会	東京大学 本郷キャンパス	R6/3/12~14

(2) 口頭発表(その他)

題名	発表者氏名(所属)	発表学会名	会場	期日
電子ビーム加工による金属 AM 造形物表面の高機能化について	萩原義人(素材科)	第 237 回電気加工研究会	キャンパスプラザ京都	R5/5/26
燃料電池用 Pt 系触媒の電池特性評価-セル評価を通して-	大丸明正(管理・連携推進センター)	第 14 回 新電極触媒シンポジウム&宿泊セミナー	東レ総合研修センター	R5/10/28
金属積層造形素材の機械的性質及び熱疲労評価	深澤郷平(工業材料科)	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 精密微細分科会 第 4 回 積層造形研究会	長野県工業技術総合センター	R5/11/21~22
NEDO PEFC 評価解析プラットフォームでの発電評価プロトコルと市販触媒評価	三神武文(化学・燃料電池科)	燃料電池・FCH 部会 第 290 回定例研究会	大阪科学技術センター	R6/3/25

(3) ポスター発表(学会等)

題名	発表者氏名(所属)	発表学会名	会場	期日
山梨県産小麦全粒粉の製パン適性の検討	樋口かよ・橋本卓也・長沼孝多(食品酒類・バイオ科)・有泉直子(食品酒類・研磨宝飾技術部)	日本調理科学会 2023 年度大会	県立広島大学 広島キャンパス	R5/9/9~10
The light energy converter based on cellulose materials	芦澤里樹(化学・燃料電池科)・塩澤佑一朗(製品開発科)・宮澤航平・上垣良信(化学・燃料電池科)	The 5th International Cellulose Conference (ICC2022+1)	広島国際会議場	R5/9/26~28
ブドウ由来バイオマスからのCNF調製におけるキレート剤処理の効果	芦澤里樹(化学・燃料電池科)・兼坂匡人(食品酒類・バイオ科)・塩澤佑一朗(製品開発科)・宮澤航平・上垣良信(化学・燃料電池科)	セルロース学会第30回 年次大会	広島国際会議場	R5/9/28~29
山梨県産小麦全粒粉の製パン適性の検討	樋口かよ・橋本卓也・長沼孝多(食品酒類・バイオ科)・有泉直子(食品酒類・研磨宝飾技術部)	農研機構食品研究成果 展示会 2023	つくば国際会議場	R5/11/8
極低温で合成した非晶質カーボン薄膜の NEXAFS 解析	北原広貴・秋山恒樹・佐藤哲也(山梨大学)・塩澤佑一朗(製品開発科)	2024 年第 71 回 応用物理学会 春季学術講演会	東京都市大学 世田谷キャンパス	R6/3/22~24

(4) 学会誌掲載

題名	発表者氏名(所属)	誌名	掲載巻・ページ
多変量解析によるルビーの蛍光指紋の解析	佐藤貴裕・宮川和博・佐野照雄(研磨・宝飾科)・有泉直子(食品酒類・研磨宝飾技術部)・笠原茂樹・小泉一人(宝石貴金属協会)・高橋泰(宝石美術専門学校)	宝石学会誌	Vol. 37 1-4 号, pp3-10(2023)
Traditional microbial control methods used in sake brewing effectively suppress predominant bacteria emerging during production of rice <i>koji</i>	長沼孝多・橋本卓也・樋口かよ(食品酒類・バイオ科)・有泉直子(食品酒類・研磨宝飾技術部)・中川洋史・小久保晋・山村英樹(山梨大学)・早川正幸(山梨県立大学)	Biotechnology & Biotechnological Equipment	Volume 37 Issue 1 オープンアクセス(2023)
ダイカスト鋳造したマグネシウム合金における水酸化皮膜の形成に及ぼす表面ひずみの影響	鈴木大介(工業材料科)・八代浩二(成長産業推進課)・佐野正明(機械技術部)・三井由香里(総合相談・連携推進科)	日本材料学会誌「材料」	72 巻, 4 号, pp332-338(2023)
山梨県産「甲州」から醸造されたオレンジワインの成分分析および官能評価による生産特性調査	小松正和・佐藤憲亮・恩田匠(ワイン技術部)	日本ブドウ・ワイン学会誌	Vol. 34(1), pp27-36(2023)

題名	発表者氏名(所属)	誌名	掲載巻・ページ
日本ワインコンクール(Japan Wine Competition)2023 報告	恩田匠(ワイン技術部)・眞田卓也(産業振興課)	日本ブドウ・ワイン学会誌	Vol. 34(2), pp109-117(2023)
プラスチックの色移行の予測	尾形正岐(製品開発科)・寺澤章裕(素材科)・阿部治(工業材料科)・西村通喜(機械技術部)・山田博之(材料・燃料電池技術部)	プラスチック成形加工学会誌	Vol. 35(9), pp307-310(2023)
耐候性試験機による促進劣化試験と屋外暴露との相関性 ーABS 成形品の色差についてー	尾形正岐(製品開発科)・望月陽介(素材科)・古屋雅章(機械電子科)・寺澤章裕(素材科)・勝又信行(機械電子科)・長田和真(企画・情報科)・阿部治(工業材料科)・八代浩二(成長産業推進課)・石黒輝雄(機械技術部)・山田博之(材料・燃料電池技術部)	プラスチック成形加工学会誌	Vol. 35(12), pp430-432(2023)
耐候性試験機による促進劣化試験と屋外暴露との相関性 ーABS 成形品の色差についてー	尾形正岐(製品開発科)・望月陽介(素材科)・古屋雅章(機械電子科)・寺澤章裕(素材科)・勝又信行(機械電子科)・長田和真(企画・情報科)・阿部治(工業材料科)・八代浩二(成長産業推進課)・石黒輝雄(機械技術部)・山田博之(材料・燃料電池技術部)	プラスチック成形加工学会誌	Vol. 36(1), pp19-22(2024)

(5) 専門誌等掲載

題名	発表者氏名(所属)	誌名	掲載巻・ページ
山梨県産小麦全粒粉の製パン適性の検討	樋口かよ・橋本卓也・長沼孝多(食品酒類・バイオ科)・有泉直子(食品酒類・研磨宝飾技術部)	食品の試験と研究	No. 58, p53 (2023)
山梨県産業技術センターの食品酒類関連の事業と研究	丹沢竜(所長)	食品の試験と研究	No. 58, p36 (2023)
Frozen soil reduces the effectiveness of the electric fences	本田剛(総合農業技術センター)・清水章良・富永裕輝(電子応用科)	European Journal of Wildlife Research	Vol. 69 Article:98(2023)
創立 15 周年に寄せて	丹沢竜(所長)	(一社)山梨県鉄構溶接協会創立 15 周年記念誌	p 10
果樹搾りかすから作るバイオベースプラスチックと補強材の複合体	芦澤里樹(化学・燃料電池科)・森長久豊(山梨大学)	バイオインダストリー	2024 年 1 月号, pp20-25
植物由来素材セルロースナノファイバーを活用した研究開発	芦澤里樹(化学・燃料電池科)	山梨科学アカデミー会報	第 53 巻, pp55-57
AM 技術の研究開発と中小企業への技術支援 —山梨県産業技術センター	萩原義人・寺澤章裕(素材科)・深澤郷平(工業材料科)・佐野正明(機械技術部)	型技術	第 39 巻 第 1 号 通巻第 484 号

人材育成業務

1. 出前技術講座

(1) 講座一覧

※受講者数 () はオンライン参加

	講座	実施日	担当	受講者数
1	ROS を利用した工場用搬送ロボットの停止位置誘導アルゴリズムの精度向上	R5/4/24～ 10/27	システム開発科	8 (3)
2	金属材料の機械試験について	R5/5/24	工業材料科	15
3	visPIP 及び DX 実証フィールド紹介・見学会	R5/5/31	システム開発科	16
4	山梨県立大学 PENTAS Yamanashi “地域しごと概論” 「経営マインド」	R5/6/1	デザイン技術部	12
5	山梨学院大学 やまなしの食 「甲州産ワインの歴史と特性」	R5/6/3	ワイン技術部	32
6	山梨ジュエリーブランドチーム勉強会「商品開発のための情報収集、環境分析について」	R5/6/20	技術支援科	14
7	桐生織物協同組合 人材育成事業第一回勉強会「郡内織物産地の概要とブランディング活動」	R5/6/28	技術支援科	20
8	全国新酒鑑評会 予審参加で得られた情報	R5/7/11	食品酒類・バイオ科	7
9	センターの概要説明および意見交換	R5/7/11	研磨・宝飾科	7
10	産業技術センターで実施している業務について	R5/7/11	食品酒類・バイオ科	22
11	機械電子関係の研究紹介	R5/7/12	機械電子技術部	19
12	桜美林大学 芸術文化学群 ビジュアル・アーツ専修 合同合宿レクチャー「織物とはなにか／郡内織物産地の歴史と現在の取り組み」	R5/8/31	技術支援科	15
13	図面の読み方の基礎	R5/8/31	機械技術部	5
14	産業技術センター・DX 実証フィールド紹介及び AI の基礎と実習	R5/9/1	システム開発科	14
15	一般社団法人日本テキスタイルデザイン協会 産地ツアーレクチャー「山梨県織物産地の歴史と現在の取り組みについて」	R5/9/4	技術支援科	12
16	ここのがっこうマテリアル&マターコース「織物とはなにか」	R5/9/9	技術支援科	25

	講座	実施日	担当	受講者数
17	山梨英和大学 山梨学「山梨ハタオリ産地の歴史とブランディング活動」	R5/10/2	技術支援科	27
18	yisPIP 及び DX 実証フィールド紹介・見学会	R5/10/5	システム開発科	16
19	「URUSHINASHIKA」の企画開発について	R5/10/13	デザイン技術部	20
20	国宝修理装演師連盟研修会「どうしてそうなっているかを学ぶ織物組織入門」	R5/11/9	技術支援科	23
21	山梨大学 ワイン・フロンティアリーダー養成プログラム「日本ワイン学」	R5/11/28	ワイン技術部	21
22	微生物の基礎および食品の微生物試験の基礎	R5/12/6	食品酒類・バイオ科	3
23	山梨大学 AI 浸透化時代を見据えた高度デザイン人材育成プログラム「伝統産業のリデザイン」	R5/12/15	技術支援科	21
24	「産業技術センターにおける表面処理等の技術、機器設備その他取り組み等の紹介」 「めっき工場データの収集と活用」	R5/12/21	材料・燃料電池技術部	10
25	山梨県立大学 PENTAS YAMANASHI VUCA 科目“地域のチャレンジ2” 「郡内織物産地の歴史とブランディング活動」	R6/1/5	技術支援科	15
26	ワイン醸造技術研究会「山梨県産ワインの多様化・高品質化のための各種製造技術について」	R6/1/31	ワイン技術部	43 (11)
27	勝沼ワインゼミナール「勝沼地区の各扇状地のブドウ果汁と委託醸造ワインの成分値について」	R6/3/17	ワイン技術部	90
28	ブドウ CNF 研究の紹介	R6/3/21	化学・燃料電池科	10

※) 派遣先企業は、企業の事業情報につき表示しておりません。

(2) 担当別実績

部	企画連携 推進部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数 (講座数)	-	39 (4講座)	54 (4講座)	35 (3講座)	5 (1講座)	32 (2講座)	186 (4講座)	172 (9講座)	19 (1講座)	542 (28講座)

2. ものづくり人材育成研修

(1) 通年

	講座名	講師	担当	実施日	受講者数
1	設計開発力強化講座① ～3D スキャナの概要・ビジネス状況について～	東京貿易テクノシ テム㈱ 浦野 雅由	デザイン技術部	R5/8/23	2
2	設計開発力強化講座② ～リバーズエンジニアリングについて～	東京貿易テクノシ テム㈱ 河島 勝弘	デザイン技術部	R5/8/29	4
3	ねじの締付けと手動式トルクツールの取り扱い 管理	㈱中村製作所 小宮孝則	機械電子科	R5/9/5	6
4	試作開発力強化講座① ～3D プリンタの概要・ビジネス状況について～	アルテック㈱ 立山 豪	デザイン技術部	R5/9/6	11
5	試作開発力強化講座② ～フルカラー3Dプリンタの造形について～	アルテック㈱ 立山 豪	デザイン技術部	R5/9/13	4
6	これからのテキスタイルとものづくり① ～マテリアル～	客員研究員 家安 香	繊維技術部	R5/9/21	7
7	射出成形不良の原因と改善方法	YOKOI Labo 横井秀俊	素材科	R5/10/5	40
8	X線透視撮影業務に必要な安全教育	センター職員	工業材料科	R5/10/17	5
9	ノイズ対策の基礎	センター職員	電子応用科	R5/10/26	3
10	基礎から学ぶ構造解析	サイバネットシス テム㈱メカニカル技術 第1課 長沢 剛	機械技術部	R5/11/8	3
11	実習から学ぶめっき入門	表面処理研究会会 長花形 保	化学・燃料電池科	R5/11/17	9
12	基礎から学ぶ三次元座標測定機	センター職員	機械技術部	R5/11/22	6
13	これからのテキスタイルとものづくり② ～ライフスタイル～	客員研究員 家安 香	繊維技術部	R5/11/28	5

(2) 担当別実績

部	企画連携 推進部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数 (講座数)	-	0 (0講座)	3 (1講座)	14 (2講座)	9 (2講座)	21 (4講座)	0 (0講座)	12 (2講座)	46 (2講座)	105 (13講座)

3. 県産ワイン・日本酒品質強化支援事業

※受講者数 () はオンライン参加

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
ワイン技術部	ブランド力向上ネットワーク構築事業 先進地見学会	1. 千代の光酒造(株) 2. (株)岩の原葡萄園 3. 今代司酒造(株) 4. (株)カーブドッチ	R5/7/26 ～27	6
食品酒類・バイオ科	ブランド力向上ネットワーク構築事業 先進地見学会	1. 千代の光酒造(株) 2. (株)岩の原葡萄園 3. 今代司酒造(株) 4. (株)カーブドッチ	R5/7/26 ～27	7
	評価技術者育成事業 評価技術セミナー (座学) 「味覚センサーの概要、原理、分析例について」	(株)インテリジェントセン サーテクノロジー 常務取締役 内藤悦伸	R6/3/12	31 (23)
	評価技術者育成事業 評価研修 (実技) 「令和5年度導入備品 味覚センサーの使用手法」	センター職員	R6/3/12	31 (23)
	ブランド力向上構築事業 交流会 (勉強会) 「日本酒とワインの高付加価値化戦略の比較分析 ー市場拡大に向けたいくつかの打ち手ー」	新潟大学 日本酒学センター 副センター長 岸 保行	R6/3/27	21 (13)

4. 講習会・研修会

(1) 講座一覧

食品酒類・研磨宝飾技術部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
食品酒類・バイオ科	菓子講習会 (I) (山梨県菓子工業組合と共催)	(株)林原 東京ラボ営業サポート課 竹田恵子	R5/6/15	31
	製パン技術講習会 (I) (山梨県パン協同組合と共催)	(株)愛工社製作所 研究室・テクニカルアド バイザー 伊藤雅大	R5/6/23	31
	菓子講習会 (II) (山梨県菓子工業組合と共催)	日清製粉プレミックス(株) 営業部東京支店 支店長代理 馬場啓太	R5/7/4	15
	学校給食パン講習会 (令和5年度パン試験焼き研修会)	(株)KO 堂 奥石輝夫	R5/7/25	19
	和菓子講習会	専修学校 日本菓子専門学校 教育局課長 長澤真悟	R5/8/29	16

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
食品酒類・バイオ科	洋菓子講習会	原田誠也	R5/11/7	23
	食品技術講習会 (食品技術研究会と共催)	山梨学院大学 宮田恵多、 (株)ハウス食品分析テクノ サービス 野口憲太郎	R6/2/6	28
研磨・宝飾科	LA-ICP-MS 分析セミナー	アジレント・テクノロジー(株) 大森美音子	R5/12/14	16
	顕微ラマン分光装置セミナー	レニショー(株) 加藤隆一	R5/12/15	8
	紫外可視近赤外分光光度計分析セミナー	日本分光(株) 内山理文	R6/1/25	7

電子・システム技術部

※受講者数 () はオンライン参加

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
電子応用科	電子応用技術セミナー I 「EMC 試験 規格要求と最新動向」	(株)テクノサイエンスジャパン 山田和謙	R5/7/13	47 (17)
	電子応用技術セミナー II 「実務に使える！電子回路シミュレータを用いたアナログ回路の理解」	(同)アナリブ 平賀公久	R6/2/28	15
システム開発科	電子技術講習会「AI 活用による製造現場 DX ～AI 外観検査システム実践事例～」	(株)電算 センター職員	R5/9/20	14
	情報技術講習会「IoT/工場内ネットワークセキュリティの基礎と対策のポイント」	山梨大学 小谷信司 センター職員	R5/12/21	6

材料・燃料電池技術部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
工業材料科	材料技術講習会 「断面観察のための最適な切断方法」	ヴァーダー・サイエンティフィック(株) 長沢浩樹	R6/1/18	13
	材料技術講習会 「XPS の測定原理・測定方法」	日本エフイー・アイ(株) 齋藤 健	R6/2/8	30
	ものづくり支援機能強化事業 「高精度電子プローブマイクロアナライザの活用方法」	日本電子(株) 高倉 優	R6/2/15	21
化学・燃料電池科	表面技術講習会 「防食技術の基礎と応用」	広島大学 矢吹彰広	R6/2/2	13
	プラスチック技術講習会「バイオマス複合プラスチック材料の開発と社会実装について」	アイーコンポロジー(株) 小出秀樹	R6/2/9	7

機械技術部

講座名	講師	実施日	受講者数
設計図面の正しい表記とその解釈	CDT 研究所 代表 中村哲夫	R6/2/2	29
表面粗さ測定技術セミナー(第一部)	アメテック(株) テラーホブソン事業部 西川洋太	R6/2/27	18
表面粗さ測定技術セミナー(第二部)	アメテック(株) ザイゴ事業部 野中悠太郎	R6/2/27	18
モノづくり革新に向けた幾何公差計測セミナー	(株)東京精密 計測事業推進部 山本圭太	R6/3/15	21

デザイン技術部

講座名	講師	実施日	受講者数
トレンド・情報技術講習会 「2030年に向けた繊維産業の展望について」	経済産業省製造産業局 生活製品課 課長補佐 山田広平	R5/6/8	15
セルロース技術講習会 「パルプモウルの基礎知識と活用について」	日本パルプモールド工業 会 清水幸浩	R5/10/25	15
レーザー加工機活用セミナー I	センター職員	R6/1/31	10
デザイン技術講習会 I 「“デザイン・フォー・オール”の視点から価値の連鎖を創造する」	(一社)千年持続デザイン 機構 理事長 株ユニバーサルデザイン 総合研究所 所長 赤池 学	R6/2/16	14
デザイン技術講習会 II 「mitate プロジェクト～AI とデザイナーによるプロダクト開発～」	株quantum Chief Design Officer 門田慎太郎 Design Engineer 竹腰美夏	R6/3/1	11 (2)

ワイン技術部

講座名	講師	実施日	受講者数
山梨県ワイン鑑評会	センター職員	R5/4/12	55
亜硫酸管理技術講習会	センター職員	R5/6/14	13
官能評価会	センター職員	R5/7/7	32

繊維技術部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
製品開発科	繊維技術講習会 「地域の天然染料と天然繊維を用いた地域活性化の 取り組み」	山梨県立大学特任教授 増田貴史	R6/1/23	21

機械電子技術部

講座名	講師	実施日	受講者数
異業種のための医療機器ビジネス入門セミナー	(公財)医療機器センター 医療機器産業研究所 主任研究員 松橋祐輝	R5/12/18	16
ものづくりライフサイクルを支える三菱電機のロボティクスと DX	三菱電機㈱ FA システム事業本部 機器事業部ロボット・センサ部 主管技師長 武原純二	R5/12/18	15

(2) 担当別実績

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数 (講座数)	194 (10講座)	82 (4講座)	84 (5講座)	86 (4講座)	65 (5講座)	100 (3講座)	21 (1講座)	31 (2講座)	663 (34講座)

5. 技術者研修

(1) テーマ一覧

	研修テーマ	研修期間	受講者数	受入担当
1	織物基礎及び設計	R5/5/16～6/29(14日間)	5	繊維技術部
2	Adobe Illustrator の基本操作習得	R5/6/5～7/3(4日間)	3	デザイン技術部
3	Adobe Illustrator の基本操作習得	R5/6/5～7/3(4日間)	2	デザイン技術部
4	アミノ酸分析の基礎と実習	R5/6/29～7/28(3日間)	1	食品酒類・バイオ科
5	三次元座標測定	R5/7/24～9/29(3日間)	2	機械電子技術部
6	デジタルジャカード	R5/9/12～9/26(3日間)	7	繊維技術部
7	Rhinoceros の基本操作習得	R5/10/23～11/13(4日間)	2	デザイン技術部
8	切削鏡面加工(平面部加工条件研究)	R6/1/9～3/22(8日間)	1	機械技術部

※) 派遣元企業は、企業の事業情報につき表示しておりません。

(2) 担当別実績

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数 (件数)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	7 (3)	0 (0)	12 (2)	2 (1)	23 (8)

6. インターンシップ研修

	研修テーマ	研修期間	受講者数	受入担当
1	令和5年度山梨県庁インターンシップ 1day 仕事体験 研究職(電子・機械)コース	R5/9/14	5	電子・システム技術部 ほか

7. その他

高等学校課題研究サポート

県立吉田高等学校が実施する、同校理数科生徒を対象とした課題研究をサポートした。

○テーマ : 新規機能性付与による繊維製品の高品質化

○実施日 : 令和5年6月6日、6月14日、7月12日、8月1日、8月4日、10月4日、10月13日、10月18日

○参加人数 : 3名

情報提供業務

1. 研究成果発表

- (1) 産業技術センター研究成果紹介（研究報告書等資料）
 - ・公開日：令和5年5月29日～
 - ・発表：22テーマ

- (2) 産業技術センター研究成果発表会（ハイブリッド配信）
 - ・公開日：令和5年12月7日
 - ・発表：21テーマ（口頭8、ポスター21）
 - ・特別講演：企業の方によるセンター活用事例発表（口頭発表）
（株）清水製作所 取締役 樋泉光紀 氏

- (3) やまなし産学官連携研究交流事業（ポスター、動画配信）
 - ・公開日：令和5年11月10日～11日
 - ・会場：テクノICTメッセ2023（アイメッセ山梨）
 - ・動画配信：令和5年10月中旬～令和6年3月31日
 - ・発表：9テーマ（令和4年度終了テーマ）※動画配信

- (4) メディカル・イノベーションMt. FUJI
 - ・公開日：令和6年2月28日～29日
 - ・会場：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター
 - ・内容：医療関連研究成果等、支援事例

2. 刊行物の発行

- (1) 研究成果速報
 - ・発行日：令和5年5月29日
（※HPへの掲載のみ）

- (2) 年報（令和5年度）
 - ・発行日：令和5年9月29日
 - ・発行部数：400部

- (3) 研究報告（令和4年度 No. 06号）
 - ・発行日：令和5年10月1日
 - ・発行部数：400部

- (4) センターニュース
 - ・発行部数：各1,500部
 - ① センターニュースVol. 19
 - ・発行日：令和5年6月30日
 - ② センターニュースVol. 20
 - ・発行日：令和5年10月31日
 - ③ センターニュースVol. 21
 - ・発行日：令和6年2月29日

- (5) デザイン情報紙 DESIGN YAMANASHI Vol. 56～61
ものづくりのアイデアの誘因を目的として、ポストカードの形式で情報紙を年間6回発行
 - ・発行日：令和5年4月～令和6年3月
 - ・発行部数：各1,600部

3. センター利用の手引きおよびメールマガジンの発行

- (1) センター利用の手引き：適宜発行
- (2) メールマガジン
 - ・発行回数：28回（No. 23-001～028）
 - ・内容：講習会・研修会案内、設備機器案内等

4. その他

- (1) ホームページによる情報提供
センターの研究や設備を紹介したプロポーザルページを作成：6回
(<https://www.pref.yamanashi.jp/yitc/>)
- (2) 甲斐絹ミュージアムホームページによる情報発信
郡内織物産地のルーツ、山梨県が誇る伝統織物『甲斐絹』を紹介
(<https://www.pref.yamanashi.jp/kaiki/>)
- (3) ブログ・フェイスブック「シケンジョテキ」による情報発信
富士技術支援センターに所蔵するビンテージテキスタイルをはじめ、産地企業の職人や技の魅力などを紹介
(ブログ <https://www.shikenjyo.blogspot.jp>)
(フェイスブック <https://www.facebook.com/シケンジョテキ-969866283101120>)
発信数：ブログ9回、フェイスブック9回

(4) 公報・書籍・学会誌収集

区分	内容
書籍類	工学・デザイン専門誌（学会誌30、協会誌15、その他43 合計88種 [購入・寄贈]） 工学・デザイン専門書（購入137冊、寄贈8冊 合計145冊）
研究報告	国・大学・公設試（47種）
各種情報	JIS、法規集（23種）、新聞（18種）、国・公設試ニュース、その他

(5) YAMANASHI DESIGN ARCHIVEの運用

山梨県に伝わる過去の優れた物品の造形や模様、自然から得られる色彩、今に伝わる昔話・伝説を産業上で使用することのできるデザインソースとしてデジタル化して配信
(<https://design-archive.pref.yamanashi.jp/>)

・掲載デザインソース数 1,133点

(内訳：形状103点／模様367点／色彩148点／昔話505点／文字10点)

・デザインソース使用実績 計39点

技術交流

1. 研究機関連絡会議

会議名	期日	会場	出席者		
産業技術連携推進会議 総会	R6/1/22	イノカンファレンスセンター (ハイブリッド開催)	丹沢 竜		
産業技術連携推進会議					
情報通信・エレクトロニクス部会					
第19回地域交流ワークショップ	R5/6/28	名古屋国際会議場	保坂 響		
組込み技術研究会・幹事会	R5/9/26	オンライン開催	布施嘉裕		
組込み技術研究会・情報通信研究会(合同開催)	R5/10/5~6	福島ロボットテストフィールド	布施嘉裕	中村 卓	
組込み技術研究会・幹事会	R6/3/28	オンライン開催	布施嘉裕		
情報技術分科会 第16回音・振動研究会	R5/10/5~6	長野県工業技術総合センター (ハイブリッド開催)	石黒輝雄	坂本智明	
製造プロセス部会					
表面技術分科会	R5/10/25~26	和歌山県工業技術センター	宮澤航平		
精密微細加工分科会 第3回積層造形研究会	R5/11/21~22	長野県工業技術総合センター (ハイブリッド開催)	鈴木大介	深澤郷平	早川 亮
	R5/11/21		萩原義人	寺澤章裕	古屋雅章
ライフサイエンス部会					
第32回デザイン分科会	R5/6/15~16	福島県ハイテクプラザ津若松 技術支援センター	鈴木文晃		
第33回デザイン分科会	R5/11/30~12/1	静岡文化芸術大学	佐藤博紀		
ナノテクノロジー・材料部会					
繊維分科会 総会	R5/6/8~9	桐生グランドホテル	吉村千秋		
繊維分科会 繊維技術研究会	R5/10/5~6	アクトシティ浜松研修交流センター	望月威夫		
繊維分科会 デザイン研究会	R5/11/14~15	京都市産業技術研究所	秋本梨恵		
繊維分科会 関東・東北地域連絡会 総会	-	書面会議	-		
繊維分科会 関東・東北地域連絡会 生産・測定研究会	R5/12/1	山梨県甲府技術支援センター 富士技術支援センター	吉村千秋	渡辺 誠	五十嵐哲也
			望月威夫	尾形正岐	塩澤佑一朗
高分子分科会	R5/11/28	オンライン開催	芦澤里樹	勝又信行	渡邊慧輔
素形材分科会 総会	R5/11/14	オンライン開催	石田正文		
素形材分科会 担当者会議・工場見学	R5/6/7~8	名古屋市工業研究所 (株)アルビックリンク常滑営業所	石田正文		
知的基盤部会					
計測分科会 形状計測研究会	R5/12/6~8	福井国際交流会館 (ハイブリッド開催)	米山 陽		
			石黒輝雄	西村通喜	早川 亮
			小松利安	萩原義人	寺澤章裕
分析分科会	R5/11/30	鳥取県立県民文化会館(とりぎん文化会館) (ハイブリッド開催)	宮澤航平		
			三神武文	望月陽介	尾形正岐
知的基盤部会総会	R5/12/1	鳥取県立県民文化会館(とりぎん文化会館)	宮澤航平		
第27回電磁環境分科会及び第32回EMC研究会	R5/11/9~10	じゅうろくプラザ	富永裕輝		
電磁環境分科会 第21回関東甲信越静EMC研究交流会 及びEMTEP EMCパートナーグループ会	R6/1/12	東葛テクノプラザ	清水章良		
関東甲信越静地域部会					
企画調整分科会(第1回)	R5/6/26	オンライン開催	恩田 匠		
第3回関東技術交流分科会	R6/2/20	WEB会議	恩田 匠		
関東技術交流分科会	R5/9/21	埼玉県総合技術総合センター	恩田 匠	長田和真	
企画調整分科会(第2回)	R5/10/23	オンライン開催	恩田 匠		
第4回関東技術交流分科会	R5/11/22	東京ビッグサイト 東京都立産業技術センター・食品技術センター	小松正和	尾形美貴	
関東甲信越静地域産業技術連携推進会議及び関東甲信越静地域部会合同総会	R5/11/29	神奈川県立産業技術総合研究所	丹沢 竜	長田和真	
企画調整分科会(第3回)	R6/2/20	WEB会議	恩田 匠		
製造技術分科会	R6/2/20	WEB会議	恩田 匠		

会議名	期日	会場	出席者		
首都圏公設試連携会議(TKF)					
TKFオープンフォーラム	R5/11/22	東京ビッグサイト 東京都立産業技術センター・食品技術センター	小松正和	尾形美貴	
第63回首都圏公設試連携推進会議(TKF)	R5/11/29	神奈川県立産業技術総合研究所	丹沢 竜	長田和真	
広域首都圏輸出製品技術センター(MTEP)					
第3回広域首都圏輸出製品技術支援センター(MTEP) 連携会議	R5/11/29	神奈川県立産業技術総合研究所	丹沢 竜	長田和真	
公立鉱工業試験研究機関長協議会					
全国公設鉱工業試験研究機関長協議会 知的財産に係る分科会	R5/11/16	オンライン開催	勝又信行	三井由香里	
全国食品関係試験研究場所長会					
令和5年度第1回臨時総会	R5/7/12	メール総会	丹沢 竜		
定期総会	R6/2/9	つくば国際会議場	木村英生		
農研機構食品研究成果展示会2023	R5/11/8	つくば国際会議場	樋口かよ		
令和5年度関東甲信越地区食品醸造研究会	R5/7/31	オンライン開催	尾形美貴	小松正和	
地方公設試験研究機関金属AM技術担当者会議	R6/2/1	東京都立産業技術研究センター	萩原義人	寺澤章裕	
令和5年度食品試験研究推進会議	R6/2/9	つくば国際会議場	木村英生		

2. 学会等の会議

会議名	期日	会場	出席者	
(一社)軽金属学会第144回春期大会	R5/5/12~14	香川大学幸町キャンパス	佐野正明	
日本熱処理技術協会第95回講演大会	R5/5/22~23	東京工業大学大岡山キャンパス	深澤郷平	
FCDIC燃料電池シンポジウム	R5/5/25~26	タワーホール船堀	三神武文	川本鉄平
第237回電気加工研究会	R5/5/26	キャンパスプラザ京都	萩原義人	
宝石学会(日本)講演会総会	R5/6/10	フォッサマグナミュージアム	佐藤貴裕	
(一社)表面技術協会アノード酸化皮膜の機能化部会(ARS部会)第111回例会	R5/6/13	南部労政会館	佐野正明	鈴木大介
プラスチック成形加工学会第34回年次大会	R5/6/21~22	タワーホール船堀	尾形正岐	
第31回品質工学研究発表大会	R5/6/30	タワーホール船堀	宮川和博	
マテリアルライフ学会第34回研究発表会	R5/7/6~7	大阪大学	尾形正岐	
(一社)型技術協会_金型品質評価研究委員会_令和5年度第1回研究会	R5/7/14	工学院大学新宿校舎	佐野正明	
(公社)日本材料学会 第57回X線材料強度に関するシンポジウム	R5/7/20~21	山梨県立図書館	鈴木大介	
産総研地域産業活性化人材育成事業 地域連携担当者向け交流会	R5/7/24	オンライン開催	尾形正岐	
日本食品科学工学会第70回記念大会	R5/8/24~26	京都女子大学	有泉直子	尾形美貴
(一社)表面技術協会第148回講演大会	R5/9/4~5	山形大学米沢キャンパス	佐野正明	
日本調理科学会2023年度大会	R5/9/9~10	県立広島大学	樋口かよ	
(一社)型技術協会_金型品質評価研究委員会_令和5年度第2回研究会	R5/9/13	本田技研工業(株)四輪事業本部四輪開発センター	佐野正明	
The 5th International Cellulose Conference (ICC2022+1)	R5/9/26~28	広島国際会議場	芦澤里樹	
セルロース学会 第30回年次大会	R5/9/28~29	広島国際会議場	芦澤里樹	
第3回日本の酒シンポジウム	R5/9/30	山梨大学甲府キャンパス	長沼孝多	尾形美貴
令和5年度日本醸造学会大会	R5/10/4~5	北とびあ	佐藤憲亮	
The International Gemmological Conference (IGC) Tokyo 2023	R5/10/24~26	国立科学博物館	佐藤貴裕	
分析事例討論会	R5/10/26~27	産総研中国センター	尾形正岐	
(一社)型技術協会_第152回型技術セミナー	R5/11/9	慶應義塾大学日吉キャンパス	佐野正明	
2023年度繊維学会秋季研究発表会	R5/11/27~28	京都テルサ	宮澤航平	
第64回電池討論会	R5/11/28~29	大阪府立国際会議場	三神武文	小林 誉
令和5年度ウェアリング技術研究成果発表会	R5/11/29	東京国際フォーラム会議室	尾形正岐	
(一社)電気加工学会全国大会(2023)	R5/11/30~12/1	東京農工大学小金井キャンパス	佐野正明	
(公社)日本材料学会 第60回X線材料強度に関する討論会	R5/11/30~12/1	あいちシンクロトロン光センター、ウインクあいち	鈴木大介	
精密工学会 ビジョン技術の実利用ワークショップ(ViEW2023)	R5/12/7~8	パシフィコ横浜	保坂 響	
(一社)日本マグネシウム協会技術講演会	R5/12/15	機械振興会館	佐野正明	
日本ブドウ・ワイン学会2023名古屋大会	R5/12/16~17	名城大学	恩田 匠 小松正和	木村英生
(一社)型技術協会_金型品質評価研究委員会_令和5年度第3回研究会	R6/1/24	工学院大学新宿校舎	佐野正明	
令和6年日本食品科学工学会関東支部大会	R6/3/2	関東学院大学関内キャンパス	橋本卓也	
(公社)精密工学会2024年度精密工学会春季大会学術講演会	R6/3/12~14 R6/3/13~14	東京大学本郷キャンパス	佐野正明 萩原義人	米山 陽 古屋雅章
電気化学会第91回大会	R6/3/14~16	名古屋大学東山キャンパス	三神武文	川本鉄平
2024年第71回応用物理学会春季学術講演会	R6/3/24~25	東京都市大学世田谷キャンパス	塩澤佑一朗	

3. 職員派遣

※中止・欠席は記載していません

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
産総研連携アドバイザー事業						
合同連絡会議	R5/5/17	(国研)産業技術総合研究所	オンライン開催	高尾清利 宮川和幸 中村聖名		
山梨県-産総研 連絡会議	R5/7/27			高尾清利 宮川和幸 中村聖名		
	R5/11/2			高尾清利 宮川和幸 中村聖名		
	第1回地域連絡担当者会議			R5/12/20	高尾清利 宮川和幸 中村聖名	
第1回地域連携ウェビナー	R5/7/24			高尾清利 宮川和幸 中村聖名		
第2回地域連携ウェビナー	R5/10/12			高尾清利 宮川和幸 中村聖名		
第3回地域連携ウェビナー	R6/2/6~7			高尾清利 宮川和幸 中村聖名		
第4回地域連携ウェビナー	R6/2/26			高尾清利 中村聖名 山田博之		
第5回地域連携ウェビナー	R6/3/8			宮川和幸		
産総研CA 山梨県企業訪問	R6/2/26			(株)立沢化成	高尾清利	
令和5年度戦略的市場開拓支援事業費補助金審査委員会	R5/6/14			(公財)やまなし産業支援機構	書面審査	高尾清利
令和5年度中小企業等外国出願支援事業						
第1回審査委員会	R5/7/5	(公財)やまなし産業支援機構	(公財)やまなし産業支援機構	高尾清利		
第2回審査委員会	R5/9/7	(公財)やまなし産業支援機構	(公財)やまなし産業支援機構	高尾清利		
山梨県発明協会理事会						
選考委員会	R5/4/25	(一社)山梨県発明協会	オンライン開催	高尾清利		
第1回理事会	R5/5		書面開催	丹沢 竜		
第2回理事会	R6/3/22		甲府技術支援センター	丹沢 竜		
通常総会	R5/6/14		甲府技術支援センター	丹沢 竜		
第9回山梨県産業技術支援交流会	R5/10/12	(公社)日本技術士会	山梨県立図書館	岩間貴司		
第63回水晶彫刻新作展						
審査会	R5/11/9	山梨県水晶美術彫刻協同組合	甲府市役所	花形俊彦		
開会式	R5/11/10			花形俊彦		
表彰式	R5/11/10			花形俊彦		
地域連携拠点自立化推進事業キックオフミーティング	R5/10/26	(公財)やまなし産業支援機構	甲府技術支援センター	岩間貴司 山田博之		
山梨県研究推進委員会						
第1回研究推進会議	R5/5/15	総合理工学研究機構	防災新館	丹沢 竜		
第2回研究推進会議	R5/9/11		甲府技術支援センター	丹沢 竜		
第3回研究推進会議	R6/1/19		防災新館	丹沢 竜		
第1回研究推進会議WG会議	R5/4/27		甲府技術支援センター	高尾清利		
第2回研究推進会議WG会議	R5/8/29			高尾清利		
第3回研究推進会議WG会議	R5/12/25			高尾清利		
令和5年度山梨県試験研究機関研究発表技術表彰評価審査	R5/11/10~11	総合理工学研究機構	アイメッセ山梨	丹沢 竜		
令和5年度工業系高校生基幹産業担い手育成事業連携推進委員会						
第1回推進委員会	R5/5/29	山梨県教育委員会	甲府技術支援センター	丹沢 竜		
第2回推進委員会	R6/2/22			丹沢 竜		
令和5年度県民の日富士吉田会場						
オープニングセレモニー	R5/10/7	県民の日富士吉田会場実行委員会	県立富士北麓駐車場	吉村千秋		
実行委員会総会	R5/5/26		富士吉田合同庁舎	武川 守		
溶接技能者評価試験立ち会い	R5/4/15	東部地区溶接技術検定委員会	ポリテクセンター山梨	宮川和幸		
	R5/5/13			宮川和幸		
	R5/6/10			宮川和幸		
	R5/7/15			宮川和幸		
	R5/9/16			宮川和幸		
	R5/10/14			宮川和幸		
	R5/11/18			宮川和幸		
	R5/12/9			宮川和幸		
	R6/2/17			宮川和幸		
R6/3/16	宮川和幸					

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者			
東部地区溶接技術検定委員会	R5/4/11	東部地区溶接技術検定委員会	(一社)日本溶接協会 溶接技術中央検定場	宮川和幸			
	R5/5/9			宮川和幸			
	R5/6/13			宮川和幸			
	R5/6/23~24			宮川和幸			
	R5/7/11			宮川和幸			
	R5/8/8			宮川和幸			
	R5/9/12			宮川和幸			
	R5/10/10			宮川和幸			
	R5/11/14			宮川和幸			
	R5/12/12			宮川和幸			
	R6/1/16			宮川和幸			
	R6/2/13			宮川和幸			
	R6/3/12			宮川和幸			
第68回全国溶接競技会審査会	R5/11/23	東部地区溶接技術検定委員会	(一社)日本溶接協会 溶接技術中央検定場	宮川和幸			
山梨県ジュエリーマスター認定制度							
第1回認定委員会	R5/4/21	産業振興課	宝石美術専門学校	花形俊彦			
第2回認定委員会	R5/7/28			花形俊彦			
第3回認定委員会	R5/9/27			花形俊彦			
第1回試験実施委員会	R5/7/7			宮川和博	佐野照雄	鈴木文晃	
認定試験	R5/9/25			宮川和博	佐野照雄	鈴木文晃	
認定試験	R5/9/26			佐野照雄			
山梨県原産地呼称日本酒管理委員会官能審査部会							
第14回	R5/4/14	山梨県酒造協同組合	山梨県酒造組合	長沼孝多			
第15回	R5/5/23			長沼孝多	橋本卓也		
第16回	R5/6/20			長沼孝多	橋本卓也		
第17回	R5/8/18			長沼孝多	橋本卓也		
第18回	R5/10/13			長沼孝多	橋本卓也		
第19回	R5/12/15			長沼孝多	橋本卓也		
第20回	R6/1/19			長沼孝多	橋本卓也		
第21回	R6/3/22			長沼孝多	橋本卓也		
GI YAMANASHI 審査会							
第18回	R5/4/14	山梨県酒造協同組合・山梨県原産地呼称日本酒管理委員会	山梨県酒造組合	長沼孝多			
第19回	R5/5/23			長沼孝多	橋本卓也		
第20回	R5/6/20			長沼孝多	橋本卓也		
第21回	R5/8/18			長沼孝多	橋本卓也		
第22回	R5/10/13			長沼孝多	橋本卓也		
第23回	R5/12/15			長沼孝多	橋本卓也		
第24回	R6/1/19			長沼孝多	橋本卓也		
第25回	R6/3/22			長沼孝多	橋本卓也		
令和5年度山梨県原産地呼称日本酒管理委員会	R5/毎月	山梨県酒造協同組合	書面開催	花形俊彦			
令和4酒造年度全国新酒鑑評会(予審)	R5/4/19~21	(独)酒類総合研究所	(独)酒類総合研究所	長沼孝多			
清酒貯蔵出荷管理技術相談(呑切)及び県産清酒統一銘柄推奨審査会	R5/7/28	山梨県酒造組合	山梨県酒造組合	長沼孝多	橋本卓也		
令和5年東京国税局酒類鑑評会	R5/9/28	東京国税局鑑定官室	東京国税局鑑定官室	長沼孝多			
山梨県新酒鑑評会	R6/3/22	山梨県酒造組合	山梨県酒造組合	長沼孝多	橋本卓也		
ロボコンやまなし2023							
第1回実行委員会	R5/6/27	ロボコンやまなし実行委員会	中小企業人材開発センター	布施嘉裕			
第2回実行委員会	R5/10/26			布施嘉裕			
大会	R5/11/11		アイメッセ山梨	丹沢 竜	河野 裕	布施嘉裕	
第3回実行委員会	R6/1/19			阿部正人	中村 卓	保坂 響	
新任職員研修 フォローアップ研修 先輩職員との座談会	R5/12/1	山梨県職員研修所	山梨県自治会館	布施嘉裕			
山梨県溶接技術競技大会							
令和5年度 山梨県溶接技術競技大会	R5/6/3	(一社)山梨県鉄構溶接協会	ポリテクセンター山梨	丹沢 竜	山田博之	阿部 治	
令和5年度 山梨県高等学校溶接競技会	R5/6/3			石田正文	鈴木大介	深澤郷平	
				丹沢 竜	山田博之	阿部 治	
外観審査会	R5/6/6			石田正文	鈴木大介	深澤郷平	
				山田博之	阿部 治	石田正文	
曲げ審査会	R5/7/3			鈴木大介	深澤郷平		
			山田博之	阿部 治	石田正文		
表彰委員会	R5/7/6		山梨県鉄構会館	丹沢 竜	山田博之	阿部 治	
表彰式	R5/7/21			丹沢 竜			
令和6年度キックオフ会議	R6/2/21			山田博之			

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
(公財)やまなし産業支援機構 設備貸与事業						
第1回審査委員会	R5/4/26	(公財)やまなし産業支援機構	アイメッセ山梨	阿部 治		
第2回審査委員会	R5/5/31			阿部 治		
第3回審査委員会	R5/6/29			阿部 治		
第4回審査委員会	R5/7/27			阿部 治		
第5回審査委員会	R5/8/30			阿部 治		
第6回審査委員会	R5/9/28			阿部 治		
第7回審査委員会	R5/10/30			阿部 治		
第8回審査委員会	R5/11/30			阿部 治		
第9回審査委員会	R5/12/27			阿部 治		
第10回審査委員会	R6/2/2			阿部 治		
第11回審査委員会	R6/3/1			阿部 治		
技能検定試験						
(金属熱処理 一般熱処理作業)水準調整会議	R5/5/30	山梨県職業能力開発協会	中小企業人材開発センター	深澤郷平		
(ダイカスト コールドチャンパダイカスト作業)水準調整会議	R5/5/30		中小企業人材開発センター	鈴木大介		
(ダイカスト コールドチャンパダイカスト作業)技能検定	R5/6/17		県内企業(現場)	鈴木大介		
(機械・プラント製図 機械製図CAD作業)水準調整会議	R5/11/28		中小企業人材開発センター	小松利安		
(機械・プラント製図 機械製図CAD作業)技能検定	R6/1/21		旭陽電気(株) 韮崎工場	小松利安		
(機械・プラント製図 機械製図CAD作業)採点作業	R6/1/24		中小企業人材開発センター	小松利安		
ふじのくに先端医療総合特区地域協議会	R6/2/14	ふじのくに先端医療総合特区地域協議会	オンライン開催	花形俊彦	吉村千秋	
メディカル・デバイス・コリドー情報発信業務委託事業者選定検討会議	R5/12	(公財)やまなし産業支援機構	書面会議	山田博之		
メディカル・イノベーションMt. FUJI	R6/2/28~29	(公財)やまなし産業支援機構、メディカル・デバイス・コリドー推進センター	御茶ノ水ソラシティカンパレンスセンター	宮川和幸 三井由香里	恩田 匠	山田博之
DX型マッチング支援促進事業検討会議						
書面による意見聴取	R5/6	(公財)やまなし産業支援機構	書面会議	岩間貴司		
書面による意見聴取	R5/8		書面会議	岩間貴司		
令和5年度 医工連携イノベーション推進事業「地域連携拠点自立化推進事業」キックオフミーティング	R5/10/26	(公財)やまなし産業支援機構	甲府技術支援センター	岩間貴司	山田博之	
やまなし水素・燃料電池産業支援窓口ウェブサイト製作業務委託事業者選定審査会	R5/8/4	(公財)やまなし産業支援機構	甲府技術支援センター	金丸勝彦		
空飛ぶクルマ理解促進事業・映像コンテンツ製作委託業務審査会	R5/8/21	リニア未来創造推進グループ	山梨県庁	串田賢一		
山梨県立美術館附属デザインセンター整備調査支援業務委託に係る事業者選定審査会	R5/8/24	文化振興・文化財課	防災新館	串田賢一		
第47回「ボランティア・NPO活動推進月間」ポスター図案審査会	R5/11/14	(特非)山梨県ボランティア協会	山梨県立やまなし地域づくり交流センター	鈴木文晃		
甲州市原産地呼称ワイン認証審査会						
審査会	R5/7/25	甲州市	甲州市勝沼ぶどうの丘	木村英生		
甲州市ワイン品質審査会						
第35回(白ワイン部門)	R5/6/13	甲州市	甲州市勝沼ぶどうの丘	木村英生	小松正和	
第35回(赤、ロゼ、オレンジ、発泡ワイン部門)	R5/6/20			木村英生	小松正和	
令和5年度第1回ヌーヴォーワイン	R5/9/26			木村英生	小松正和	
令和5年度第2回ヌーヴォーワイン	R5/10/24			木村英生	小松正和	
第36回	R5/12/5			小松正和	佐藤憲亮	
Japan Wine Competition(日本ワインコンクール)						
第1回運営部会	R5/6/27	日本ワインコンクール実行委員会	ワイン技術部	木村英生	小松正和	
審査会	R5/7/12~13		アイメッセ山梨	恩田 匠 佐藤憲亮	木村英生 三科浩仁	小松正和 窪田 守
結果発表	R5/7/28		防災新館	恩田 匠		
表彰式	R5/9/2		山梨県庁	恩田 匠		
受賞ワインセミナー	R5/9/2		ホテル談露館	恩田 匠	小松正和	
第2回運営部会	R6/1/17		ワイン技術部	木村英生	小松正和	
審査部会会議	R6/1/23		オンライン開催	恩田 匠		
合同会議	R6/2/14		山梨県庁	恩田 匠		

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
勝沼ワイナリーズクラブ品質審査会						
第68回勝沼ボトル品質審査会	R5/8/21	勝沼ワイナリーズクラブ	ワイン技術部	木村英生	小松正和	佐藤憲亮
第69回勝沼ボトル品質審査会	R6/3/13			木村英生	小松正和	佐藤憲亮
山梨大学 ワイン・フロンティアリーダー養成プログラム						
第7回ワイン科学士認定委員会	R5/4/21	山梨大学	山梨大学	木村英生		
第15回山梨大学ワイン科学士認定証書授与式	R5/6/6		山梨大学大村智記念学術館	丹沢 竜	恩田 匠	
講義「日本ワイン学」	R5/11/28		山梨大学	木村英生		
第2回推進委員会	R6/3/4		山梨大学	木村英生		
地理的表示「山梨」審査会						
第98回	R5/4/19	山梨県ワイン酒造組合	山梨県地場産業センター	木村英生	小松正和	
第99回	R5/6/6			木村英生	小松正和	
第100回	R5/7/6			木村英生	小松正和	
第101回	R5/8/3			小松正和		
第102回	R5/9/13			木村英生	小松正和	
第103回	R5/10/26			木村英生	小松正和	
第104回	R5/12/12			木村英生	小松正和	
第105回	R6/1/18			木村英生	小松正和	
第106回	R6/2/20			木村英生	小松正和	
第107回	R6/3/19			木村英生	小松正和	
「山梨ワイン産地確立推進計画」推進連絡会議						
第19回	R5/6/21	果樹・6次産業振興課	果樹試験場	木村英生	小松正和	
第20回	R5/8/29		高冷地野菜・花き振興センター	木村英生	小松正和	
第21回	R6/3/26		果樹試験場	木村英生	小松正和	
山梨県立農林高等学校マイスター・ハイスクール事業						
第1回事業推進委員会	R5/6/1	教育委員会	農林高等学校	木村英生		
農林高校ワインお披露目会	R5/9/8	農林高等学校		木村英生		
第2回事業推進委員会	R6/3/7	教育委員会	書面開催	木村英生		
小規模ワイナリー重点支援事業						
事業説明会	R5/7/21	山梨県ワイン酒造組合	山梨県地場産業センター	木村英生	小松正和	
事業報告会	R6/2/21		山梨県地場産業センター	木村英生	小松正和	
セミナー	R6/3/11		シンワフーズケミカル(株)山梨営業所	木村英生	小松正和	
関東信越ワイン醸造研究会						
「美酒美県やまなし」テロワール確立事業業務委託先選定等委員会に係る審査委員会	R5/9/1	山梨県産業労働部産業振興課	防災新館	恩田 匠		
ワイン品質検討会	R5/12/14	果樹試験場	果樹試験場	木村英生	小松正和	佐藤憲亮
札幌国税局 令和6年ワイン醸造技術研究会						
酒類総合研究所 醸造技術講習会	R6/3/4	(独)酒類総合研究所	(独)酒類総合研究所	恩田 匠		
勝沼ワインセミナー	R6/3/17	勝沼ワイン協会	甲州市勝沼ぶどうの丘	木村英生	小松正和	
第21回富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～						
予備審査	R6/1/19	富士山憲章山梨県推進会議	富士山世界遺産センター	秋本梨恵		
本審査	R6/1/26			五十嵐哲也		
令和5年度 山梨県クリーニング師試験						
第1回試験委員会	R5/8/5	福祉保健部	防災新館	望月威夫		
第2回試験委員会	R5/11/2	福祉保健部	びゅあ総合	望月威夫		
山梨の夏服普及推進協議会						
第1回会議	R5/11/6	山梨県絹人織織物工業組合	甲府技術支援センター	渡辺 誠		
第2回会議	R6/2/28			丹沢 竜		
ハタオリマチのハタ印						
ハタオリマチのハタ印会議	R5/4/21	富士吉田市	富士吉田商工会議所	五十嵐哲也	秋本梨恵	
ハタオリマチのハタ印会議	R5/6/9		富士吉田商工会議所	五十嵐哲也	秋本梨恵	
グループ会議	R5/6/15		富士技術支援センター	五十嵐哲也	秋本梨恵	
ハタオリマチのハタ印会議	R5/9/15		富士吉田商工会議所	五十嵐哲也	秋本梨恵	
グループ会議	R5/10/19		富士吉田商工会議所	五十嵐哲也	秋本梨恵	
グループ会議	R5/10/30		富士技術支援センター	五十嵐哲也	秋本梨恵	
ハタオリマチのハタ印会議	R6/1/26		富士吉田商工会議所	五十嵐哲也	秋本梨恵	
グループ会議	R6/3/14		富士技術支援センター	五十嵐哲也	秋本梨恵	

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者	
フジヤマテキスタイルプロジェクト					
定例会	R5/4/7	東京造形大学 産地織物企業	富士技術支援センター	五十嵐哲也	秋本梨恵
定例会	R5/5/12			五十嵐哲也	秋本梨恵
キックオフミーティング	R5/6/8		東京造形大学	五十嵐哲也	秋本梨恵
定例会	R5/7/7		富士技術支援センター	五十嵐哲也	秋本梨恵
発会式	R5/8/5		富士吉田商工会議所	五十嵐哲也	秋本梨恵
定例会	R5/9/1		富士技術支援センター	五十嵐哲也	秋本梨恵
定例会	R5/10/6			五十嵐哲也	秋本梨恵
定例会	R5/12/1			五十嵐哲也	秋本梨恵
定例会	R6/1/12		五十嵐哲也	秋本梨恵	
定例会	R6/2/2		秋本梨恵		
講評会	R6/2/17		FUJIHIMURO	五十嵐哲也	秋本梨恵
テキスタイル産地ネットワーク2023in 福井	R5/11/10~11	テキスタイル産地ネット ワーク実行委員会	(株)松川レビヤン本社	五十嵐哲也	秋本梨恵
FUJI TEXTILE WEEK					
コラボレーティブプロジェクト	R5/11/24	FUJI TEXTILE WEEK 実行 委員会	富士技術支援センター	五十嵐哲也	秋本梨恵
	R5/12/19			秋本梨恵	
やまなしイノベーション創出事業費補助金					
令和5年度やまなしイノベーション創出 事業費補助金(研究開発)検討会議	R5/8/28	成長産業推進課	甲府技術支援センター	中村聖名	
	R6/1/30			中村聖名	

4. その他会議

会議名	期日	会場	出席者		
産学官連携・国関連					
総合理工学研究機構					
第1回総合理工学研究機構研究員研修会	R5/8/25	総合農業技術センター (ハイブリッド開催)	河野 裕	山田博之	金丸勝彦
			布施嘉裕	中村 卓	保坂 響
			鈴木文晃	佐藤博紀	望月陽介
			小松正和		
第2回総合理工学研究機構研究員研修会	R5/10/27	甲府技術支援センター	河野 裕	山田博之	金丸勝彦
			布施嘉裕	中村 卓	阿部正人
			保坂 響	串田賢一	鈴木文晃
			小松正和		
第3回総合理工学研究機構研究員研修会	R6/2/13	甲府技術支援センター (ハイブリッド開催)	河野 裕	山田博之	金丸勝彦
			中村聖名	布施嘉裕	富永裕輝
			保坂 響	芦澤里樹	鈴木文晃
			木村英生	小松正和	
やまなし産学官連携研究交流事業	R5/11/10~11	アイメッセ山梨	関係職員		
組合関連					
(協組)山梨県ジュエリー協会					
理事会	R5/7/3	(協組)山梨県ジュエリー協会	宮川和博		
	R5/8/7		宮川和博		
	R5/10/1		宮川和博		
	R5/11/6		宮川和博		
	R5/12/6		宮川和博		
	R6/2/5		宮川和博		
新年互礼会	R6/1/10	ベルクラシック甲府	丹沢 竜	宮川和博	
(一社)宝石のまち甲府会議外部団体連絡会議	R5/5/22	(一社)宝石のまち甲府会議	宮川和博		
	R5/6/28		宮川和博		
山梨県水晶宝飾(協組)					
理事会	R5/4/20	山梨県水晶宝飾 (協組)	宮川和博		
総会	R5/5/25	ホテル談露館	宮川和博		
西桂織物工業(協組) 第51回通常総会	R5/5/19	西桂町産業会館	吉村千秋		
都留機械金属工業(協組) 第52回通常総会	R5/5/20	ふるや	吉村千秋		
富士吉田商工会議所 新年賀詞交歓会	R6/1/10	ハイランドリゾート&スパ	丹沢 竜	吉村千秋	
山梨県鉄構溶接協会 新年互礼会	R6/1/25	アピオ甲府	丹沢 竜	山田博之	
富士吉田織物(協組)第73期通常総代会	R5/5/16	富士技術支援センター	吉村千秋		
山梨県絹人織物工業組合第58回通常総代会	R5/5/19	富士技術支援センター	吉村千秋		
令和5年度山梨県菓子工業組合 通常総会(第86回定期総代会)	R5/5/26	山梨県地場産業センター	丹沢 竜	長沼孝多	
(一社)山梨県機械電子工業会 通常総会(表彰式・懇親会)	R5/6/19	ベルクラシック甲府	丹沢 竜	花形俊彦	吉村千秋
			岩間貴司	武川 守	
(一社)山梨県機械電子工業会 新春トップセミナー 新年賀詞交歓会	R6/2/1	ベルクラシック甲府	丹沢 竜	花形俊彦	吉村千秋
			岩間貴司	武川 守	
山梨県ワイン酒造組合					
第69回通常総会	R5/6/23	山梨県地場産業センター	丹沢 竜	木村英生	
意見交換会	R5/10/26		丹沢 竜	花形俊彦	木村英生
			小松正和		
山梨ワイナリー協会 第51回定時総会	R5/8/18	甲州市勝沼ぶどうの丘	丹沢 竜	木村英生	
令和5年度山梨県青年工業会定期総会・懇親会	R5/4/22	談露館	丹沢 竜		
その他					
令和5年度人材養成講座合同開講式	R5/4/12	山梨大学大村智記念学術館	岩間貴司		
令和5年度「水素・燃料電池産業技術人材養成講座」 成果報告会・閉講式	R6/2/14	山梨大学大村智記念学術館	丹沢 竜		
管内県議会議員との意見交換会	R5/5/31	南都留合同庁舎	吉村千秋		
地域知財経営支援ネットワーク会議	R5/9/21	アイメッセ山梨	三井由香里		

会議名	期日	会場	出席者		
令和5年度ものづくり企業DX推進支援専門家派遣事業 情報共有会	R5/4/12	甲府技術支援センター	三井由香里		
	R5/6/7	甲府技術支援センター	恩田 匠	三井由香里	
	R5/7/5	オンライン開催	三井由香里		
	R5/8/2	甲府技術支援センター	恩田 匠	三井由香里	
	R5/9/13	オンライン開催	三井由香里		
	R5/11/1	オンライン開催	三井由香里		
	R5/12/6	甲府技術支援センター	三井由香里		
	R6/1/10	オンライン開催	三井由香里		
	R6/2/7	甲府技術支援センター	三井由香里		
R6/3/6	オンライン開催	三井由香里			
令和5年度中小企業サポート連携拠点会議	R5/4/18	防災新館	三井由香里		
	R5/6/20	オンライン開催	金丸勝彦	恩田 匠	
	R5/7/18	防災新館	三井由香里	長沼孝多	
	R5/8/15	書面開催	三井由香里		
	R5/10/17	書面開催	三井由香里		
	R5/11/21	防災新館	三井由香里		
	R5/12/19	書面開催	三井由香里		
	R6/1/16	オンライン開催	三井由香里		
	R6/2/20	書面開催	三井由香里		
R6/3/19	防災新館	三井由香里			
水素燃料電池ネットワーク協議会					
ワーキンググループ4会議	R5/4/13	山梨大学水素・燃料電池ナノ材 料研究センター	恩田 匠		
第1回ワーキンググループ合同会議	R5/10/2		恩田 匠		
水素燃料電池ネットワーク協議会	R5/11/1		丹沢 竜		
ワーキンググループ4会議	R6/2/16		恩田 匠		
第2回ワーキンググループ合同会議	R6/3/4		山田博之		
水素燃料電池ネットワーク協議会	R6/3/25		丹沢 竜		
令和5年東京国税局酒類鑑評会 製造技術研究会	R5/11/2	東京国税局	長沼孝多	橋本卓也	
NEDO「燃料電池等利用の飛躍的拡大に向けた共通課題解決型産学官連携研究開発事業/共通課題解決型基盤技術開発/電気化学的特性測定技術の研究開発」					
GL会議	R5/5/19	オンライン開催	三神武文		
セッショングループ 技術検討会	R5/7/7	オンライン開催	三神武文		
NEDO燃料電池成果報告会	R5/7/13	パシフィコ横浜	三神武文	川本鉄平	小林 誉
電気化学討議会	R5/7/27	オンライン開催	三神武文	川本鉄平	
GL会議	R5/8/4	オンライン開催	三神武文		
NEDO高温評価勉強会	R5/8/31	オンライン開催	三神武文		
自動自律実験装置に関する意見交換	R5/9/15	物質材料研究機構	三神武文		
GL会議	R5/10/20	オンライン開催	三神武文		
電気化学討議会	R5/11/2	オンライン開催	三神武文	川本鉄平	
FCCJ基盤技術研究懇話会	R5/11/9~10	人材開発センター富士研修所	三神武文		
NEDO継続可否審査委員会	R6/1/23	NEDO霞ヶ関分室/オンライン開催	三神武文		
NEDO白金触媒に関する集中討議	R6/2/19	NEDO霞ヶ関分室/オンライン開催	三神武文		
電気化学討議会	R6/2/22	オンライン開催	三神武文		
GL会議	R6/3/1	オンライン開催	三神武文		
ナノセルロースジャパン地域分科会	R5/9/15	経済産業省	芦澤里樹		
ふじのくに医療・介護福祉機器展	R5/12/1	プラザヴェルデ	山田博之	上垣良信	
山梨医療機器研究会 見学会	R6/1/31	テルモ(株) テルモメディカルプ ラネックス	山田博之		
メディカル・デバイス・コリドー推進センター月次 報告会	R5/5/11	山梨県庁	山田博之		
	R5/6/8	甲府技術支援センター	山田博之		
	R5/7/13		山田博之		
	R5/8/10		山田博之		
	R5/9/14		山田博之		
	R5/10/12		高尾清利		
	R5/11/16		山田博之		
	R5/12/14		山田博之		
	R6/1/18		山田博之		
	R6/3/14		山田博之		
R6/3/28	山田博之				
「医療機器分野における日本企業のアメリカ進出」 セミナー (山梨県委託事業)	R5/11/27	甲府技術支援センター	山田博之		

会議名	期日	会場	出席者		
競争的資金研究(NEDO)「難燃性マグネシウム合金ダイカストによる自動車大型部材製造技術の開発」					
令和5年度第1回全体会議	R5/7/5	(一社)日本マグネシウム協会	佐野正明		
令和5年度第2回全体会議	R5/9/27	(一社)日本マグネシウム協会	佐野正明	三井由香里	鈴木大介
			宮澤航平	長田和真	
令和5年度第3回全体会議	R5/12/18	(一社)日本マグネシウム協会	佐野正明	三井由香里	鈴木大介
			宮澤航平		
令和5年度中間評価	R6/2/6	NEDO川崎本部(WEB)	佐野正明		
令和5年度第4回全体会議	R6/3/26	(一社)日本マグネシウム協会 (WEB)	佐野正明	鈴木大介	宮澤航平
第68回全国酒造技術指導機関合同会議	R5/10/20	中央合同庁舎4号館	木村英生		
第6回日本ワインの製造に関する技術情報交換会	R6/3/12	オンライン開催	木村英生	小松正和	
山梨科学アカデミー交流大会	R5/5/31	ベルクラシック甲府	五十嵐哲也	恩田 匠	
ジェトロ「フランス織物市場セミナー」	R5/10/24	富士技術支援センター	五十嵐哲也		
フォルツァミュージアムシンポジウム	R5/10/27	オンライン開催	秋本梨恵		
トレンドユニオン・シーズンセミナー	R5/12/13	オンライン開催	秋本梨恵		

報道関係

1. テレビ等

	題目	名称等	年月日
1	UTY NEWS DIG「アルゼンチンから産業技術センターへ視察に デジタル化の技術を学ぶ」	テレビ山梨	R5/5/31
2	国内最大規模の「日本ワイン」審査会 過去最多となる全国のワイナリーが参加	テレビ山梨	R5/7/12
3	「日本ワイン」コンクール 過去最多ワイナリー参加 甲府	NHK 甲府放送局	R5/7/12
4	日本ワインコンクール 山梨 受賞最多も金賞数は長野に軍配	NHK 甲府放送局	R5/7/28
5	県内ワイナリー金賞8本 最高部門賞はシャトー酒折ワイナリー「甲州ドライ」	山梨放送	R5/7/28
6	「プロフェッショナル 仕事の流儀」壁が、壁でなくなるように ～研究者 落合陽一～	NHK 総合	R5/12/16

2. 新聞・情報誌等

	題目	名称等	年月日
1	「Make You Happy 革新する時代に対応するために」「IoT化を進めるためには」	ポリテクセンター山梨フリーマガジン tete 4号	R5/4/1
2	「醸造技術が向上」 甲州市でワイン鑑評会	山梨日日新聞	R5/4/13
3	ブレンド白ワイン研究 甲州種と他品種組み合わせ	山梨日日新聞	R5/4/30
4	甲州種でブレンドワイン	読売新聞	R5/4/30
5	麦芽原液を発酵 ノンアルコールに 県センターミネラル水活用	山梨日日新聞	R5/5/4
6	柑橘残渣ポリマー×葡萄の搾りかす CNF で植物由来エポキシ樹脂へ	コンバーテック	R5/5/15
7	南米アルゼンチン工業技術院が視察 甲府・県産業技術センター	山梨日日新聞	R5/6/8
8	電磁波測定室を充実 産業技術センター国際規格に対応	山梨日日新聞	R5/6/13
9	新素材「洗える和紙」開発	山梨日日新聞	R5/6/23
10	ワイン出品 最多123社 甲府で日本コンクール	山梨日日新聞	R5/7/13
11	「日本ワイン」最高峰競う 最多31道府県から出品	日本経済新聞	R5/7/13
12	金賞ワイン県内醸造8点 日本コンクール 最多は長野10点	山梨日日新聞	R5/7/29
13	県産ワイン 受賞94点 「甲州」部門 金賞6点を独占	読売新聞	R5/7/29
14	「洗える和紙」誕生	山日小中学生新聞週刊こぴっと	R5/8/10
15	最多の123社 709点が出点 第19回日本ワインコンクール	酒販ニュース	R5/8/11
16	富士山麓の芸術祭、今年のテーマは「糸への回帰」	PEN online	R5/10/12

	題目	名称等	年月日
17	幻の甲斐絹 文学が紡ぐ	山梨日日新聞	R5/11/23
18	人生彩る一杯を 新時代へ夢注ぐ 山梨県産業技術センター	毎日新聞	R6/1/1
19	飲めない人にも楽しさを 「高級ノンアル」 開発挑む	毎日新聞	R6/1/6
20	狩猟生活 2024 vol.16 「狩猟のあれこれ」 甲州の伝統工芸品「印伝」がシカ革の魅力を世界に発信！	(株)山と溪谷社	R6/1/15
21	駆除シカ皮で甲州印伝 ジビエ有効活用 甲府の企業昨年から販売	読売新聞	R6/2/27
22	職人たちをヒーローにしたい！山梨のハタオリ文化を広める“ドクター・イガラシ”	やまなし in depth	R6/3/15

職員の資質向上

1. 派遣研修

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
国立試験研究機関等			
電子・システム技術部 システム開発科 研究員 中村卓	地域産業活性化人材育成事業	産業技術総合研究所 つくばセンター	R5/11/15～12/15 (R5/11/13～ R6/3/31)
山梨大学との共同研究			
機械電子技術部 素材科 主任研究員 寺澤章裕	金属材料の異方性評価	山梨大学	通年
知的財産権研修			
企画連携推進部 企画・情報科 研究員 長田和真	知的財産権研修(初級) (公設試験研究機関等向け)(第2回)	(独)工業所有権情報・研修館 ※オンライン開催	R5/11/6～11/8
中小企業支援担当者等研修			
食品酒類・研磨宝飾技術部 研磨・宝飾科 研究員 佐藤貴裕	公設試験研究機関研究職員研修	(独)中小企業基盤整備機構 人材支援部 中小企業大学校 東京校	R5/9/25～9/28
デザイン技術部 研究員 佐藤博紀	公設試験研究機関研究職員研修	(独)中小企業基盤整備機構 人材支援部 中小企業大学校 東京校	R5/9/25～9/28
機械技術部 主任研究員 米山陽	伴走型支援のためのロジカルシンキング	(独)中小企業基盤整備機構 人材支援部 中小企業大学校 東京校	R5/9/26～9/28
基礎技術研修			
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 橋本卓也	第32回実践きき酒セミナー	(公財)日本醸造協会 赤煉瓦酒造工場	R5/6/15～6/16
材料・燃料電池技術部 化学・燃料電池科 研究員 宮澤航平	第1種衛生管理者受験準備講習会	(一社)山梨県労働基準協会連合会	R5/6/21～6/22 7/18
機械技術部 研究員 坂本智明	2級ボイラー技士試験準備実技講習	(一社)日本ボイラー協会東京支部	R5/7/25～7/27
	2級ボイラー技士試験準備講習会	(一社)日本ボイラー協会東京支部	R5/8/9～8/10
	2級ボイラー技士試験	(公財)安全衛生技術試験協会 関東安全衛生技術センター	R5/8/22
材料・燃料電池技術部 工業材料科 主任研究員 鈴木大介	FE-SEM標準コース	日本電子(株)	R5/9/13～9/15
食品酒類・研磨宝飾技術部 主幹研究員・部長 有泉直子	危険物取扱者保安講習	(一社)山梨県危険物安全協会 山梨県自治会館	R5/9/20
電子・システム技術部 電子応用科 研究員 富永裕輝	2023年度 EMC試験法講習会	KEC関西電子工業振興センター けいはんな試験センター	R5/10/26～27
県内民間企業研修 ものづくり研修			
電子・システム技術部 システム開発科 技師 保坂響	ものづくり研修	(有)ふるや	R5/11/13～11/14 11/21～11/22 12/1

2. その他研修

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
デザイン技術部 部長 金丸勝彦 研究員 佐藤博紀	著作権セミナー「AIと著作権」	文化庁 (オンライン)	R5/6/19
材料・燃料電池技術部 化学・燃料電池科 研究員 宮澤航平	蛍光X線分析/膜厚計ユーザースクール (膜厚分析の基礎と応用)	(株)日立ハイテク (オンライン)	R5/6/29
材料・燃料電池技術部 工業材料科 研究員 深澤郷平	2050年CN達成に向けて工業炉業界が取り組むべき課題 ～工業炉の水素燃焼技術・アンモニア燃焼技術・高効率省エネ燃焼技術～	(株)JPI日本計画研究所	R4/8/7
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 研究員 兼坂匡人	第112回南部杜氏夏期酒造講習会(動画配信での受講)	(一社)南部杜氏協会	R4/8/8～9/30
材料・燃料電池技術部 化学・燃料電池科 研究員 宮澤航平	第23回表面処理分科会例会 「基礎から学ぶマグネシウム合金の耐食性と表面処理技術」	(一社)日本マグネシウム協会	R5/11/14
材料・燃料電池技術部 化学・燃料電池科 主任研究員 芦澤里樹 研究員 宮澤航平 繊維技術部 製品開発科 研究員 塩澤佑一朗	シンクロトロン放射光を利用した各種分析の実地研修	あいちシンクロトロン光センター	R5/12/14
デザイン技術部 主任研究員 鈴木文晃	Rhino 25th anniversary セミナー	(株)アプリアフト	R5/12/15
デザイン技術部 主任研究員 串田賢一	「AI を活用したデザインの創作と法的保護」セミナー	Japio知的財産セミナー (オンライン)	R6/2/9
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 長沼孝多	醸造WEB講習(動画配信での受講)	(公財)日本醸造協会	R5/2/28～3/28

学会・協会等からの表彰

テーマ名	学会・協会等名	受賞名	受賞者名	受賞日
マスト発酵中のカルボニル化合物について	日本醸造協会	技術賞	渡辺正平 乙黒親男 加々美久	S56/9/10
酸素吸収剤による食品の鮮度保持技術とその評価	日本包装技術協会	優秀包装文献賞	小宮山美弘	S60/6/14
スモモ果実の品質保持及び利用に関する生化学的研究	日本食品工業学会	研究奨励賞	小宮山美弘	S61/4/18
スモモ果実の成熟、貯蔵、利用における成分特性とその挙動に関する研究	日本果汁協会	技術賞	小宮山美弘	S63/6/10
建築鉄骨用多層溶接ロボットの開発（名称：勸助）	(社)溶接協会	溶接技術奨励賞	古屋重彦 中山信一 清水誠司 斎藤 修	H1/4/24
建築鉄骨用多層溶接ロボットの開発（名称：勸助）	平成6年度関東地方発明表彰	関東通商産業局長賞	古屋重彦 中山信一 清水誠司 斎藤 修	H6/10/20
ツーピース	第32回全国繊維技術展	通商産業省生活産業局長賞	ニット・縫製科	H6/10/30
ニットスーツ	第32回全国繊維技術展	技術振興賞	ニット・縫製科	H6/10/30
形状モデリングシステム	ニコグラフ展	プロセス賞	清水誠司 河西伸一 平川寛之 萩原 茂 阿部正人 井上陽介	H6/11/15
小ウメ果実の塩蔵中における硬度保持機構に関する研究	日本食品保蔵科学会	学会賞	乙黒親男	H7/6/3
ブドウ酒の膜利用製造法	全国食品関係試験研究場所長会	平成8年度優良研究・指導業績表彰	荻野 敏	H8/6/5
梅漬けの硬度保持機構とその製造技術の開発	(財)山梨科学アカデミー	奨励賞	乙黒親男	H8/6/5
婦人ニットキュロットスーツ	第34回全国繊維技術展	工業技術院賞	ニット・縫製科	H8/6/19
表面処理金型鋼の残留応力に及ぼす熱サイクルの影響	日本ダイカスト協会	小野田賞	日原政彦 八代浩二 佐野正明 増沢隆久	H9/5/22
スモモ果実の高温下での品質保持に関する研究	日本食品保蔵科学会	奨励賞	辻 政雄	H9/5/24

テーマ名	学会・協会等名	受賞名	受賞者名	受賞日
ワッシャー加工婦人アンサンブル	第36回全国繊維技術展	工業技術院物質工学工業研究所長賞	ニット・縫製科	H10/10/26
セラミックスと活性金属ろうとの接合界面挙動解析	(財)山梨科学アカデミー	奨励賞	斎藤 修	H11/11/29
Influence of re-nitriding for thermal fatigue properties on nitrided hot work die steel	2001 DENVER X-RAY CONFERENCE XRD Poster Award	Poster Award	八代浩二 佐野正明 日原政彦 倉元眞實	H13/8/1
ICP-MS、CVおよびEQCM法を用いた極微量アトーム触媒の析出状態	(社)表面技術協会	平成14年度表面技術協会進歩賞	有泉直子	H14/2/27
高速ターリング焼きバメ用誘導加熱装置 (MEGA HEATER)	(財)あさひ中小企業財団・(株)日刊工業新聞社	第14回中小企業新技術・新製品賞	橘田鉄雄	H14/6/10
食品の品質管理への近赤外分光分析法の応用に関する研究	日本食品保蔵科学会	奨励賞	恩田 匠	H14/6/28
耐食性貴金属素材及びその製造方法とその貴金属製品	全国中小企業団体中央会	奨励賞	中山信一 佐野照雄 宮川和博	H14/9/27
ラピッドプロトタイピングによる義肢ソケットの直接造形	第4回日本福祉工学会	論文賞	萩原 茂 河西伸一 石田正文 清水誠司 木島一広 大柴勝彦	H14/11/30
山梨県の新しいデザイン産業・ビジネスモデルづくり	(財)日本産業デザイン振興会	新領域部門グッドデザイン賞	工業技術センター	H15/10/30
レーザーソグラフィを用いた模型の造形装置	(社)発明協会	平成15年度関東地方発明表彰山梨県知事賞	萩原 茂	H15/11/5
安全かつ高品質味噌醸造のための微生物学的解析とバクテリオンシン産生乳酸菌に関する研究	(財)山梨科学アカデミー	奨励賞	恩田 匠	H18/5/29
フォトリソグラフィとアノード酸化を利用したAl薄膜の表面加工	(社)表面技術協会	平成20年度表面技術協会進歩賞	勝又信行	H20/2/27
甲州種ワインの高品質化に関する研究	全国食品関係試験研究場所長会	平成19年度優良研究・指導業績表彰	原川 守	H20/3/6
宝石の精密加工方法の考案	文部科学省	平成21年度科学技術分野の文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞	坂本正純	H21/5/27
3次元アルミニウムマスクを用いたシリコン基板の反応性イオンエッチング加工技術の開発	日本真空協会	第35回真空技術賞	勝又信行 石田正文	H22/11/5
ワイン醸造工程における炭酸ガス使用手法の改善	文部科学省	平成24年度科学技術分野の文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞	中山忠博	H24/4/17

テーマ名	学会・協会等名	受賞名	受賞者名	受賞日
大型高強度溶接ペロローズの開発等	(一社)溶接学会	平成23年度溶接技術普及賞	宮川和幸	H24/5/18
高品質な国産赤ワインの製造方法の開発	全国食品関係試験研究所長会	平成25年度優良研究・指導業績表彰	恩田 匠	H26/2/28
山梨県固有のデザインソースの編集とアーカイブ構築	日本デザイン学会	第62回春季研究発表大会グッドプレゼンテーション賞	佐藤博紀	H27/6/25
瓶内二次発酵法によるスパークリングワイン製造についての技術情報普及および基礎的研究	日本ブドウ・ワイン学会	日本ブドウ・ワイン学会技術賞	恩田 匠	H28/11/26
金型鋼の耐熱疲労特性評価をはじめとしたX線応力測定技術の素形材産業への展開	日本材料学会	平成28年度日本材料学会X線材料強度部門委員会業績賞	八代浩二	H29/1/27
天然素材のバナジウム媒染による機能化に関する研究	山梨県総合理工学研究機構	平成30年度Y-CROST研究奨励賞	上垣良信	H31/3/18
山梨県における県産小麦と県産パン酵母に関する研究開発とその普及	全国食品関係試験研究所長会	令和元年度優良研究・指導業績表彰	木村英生	R2/2/13
日本のスパークリングワイン製造に関する研究	日本醸造協会	日本醸造協会技術賞	恩田 匠	R2/10/12
燃料電池に関する一連の研究とその成果の企業支援への展開	山梨県総合理工学研究機構	令和2年度Y-CROST研究奨励賞	三神武文	R3/2/5
X線材料強度部門委員会運営と活性化への貢献	日本材料学会	令和2年度日本材料学会X線材料強度部門委員会功労賞	八代浩二	R3/2/19
ワインをはじめとする県産農産物加工品の品質向上と開発	山梨県総合理工学研究機構	令和3年度Y-CROST研究奨励賞	小松正和	R4/2/14
ブドウ由来等のセルロースナノファイバーを基盤とした高付加価値製品及び新素材開発	山梨県総合理工学研究機構	令和5年度Y-CROST研究奨励賞	芦澤里樹	R6/2/13

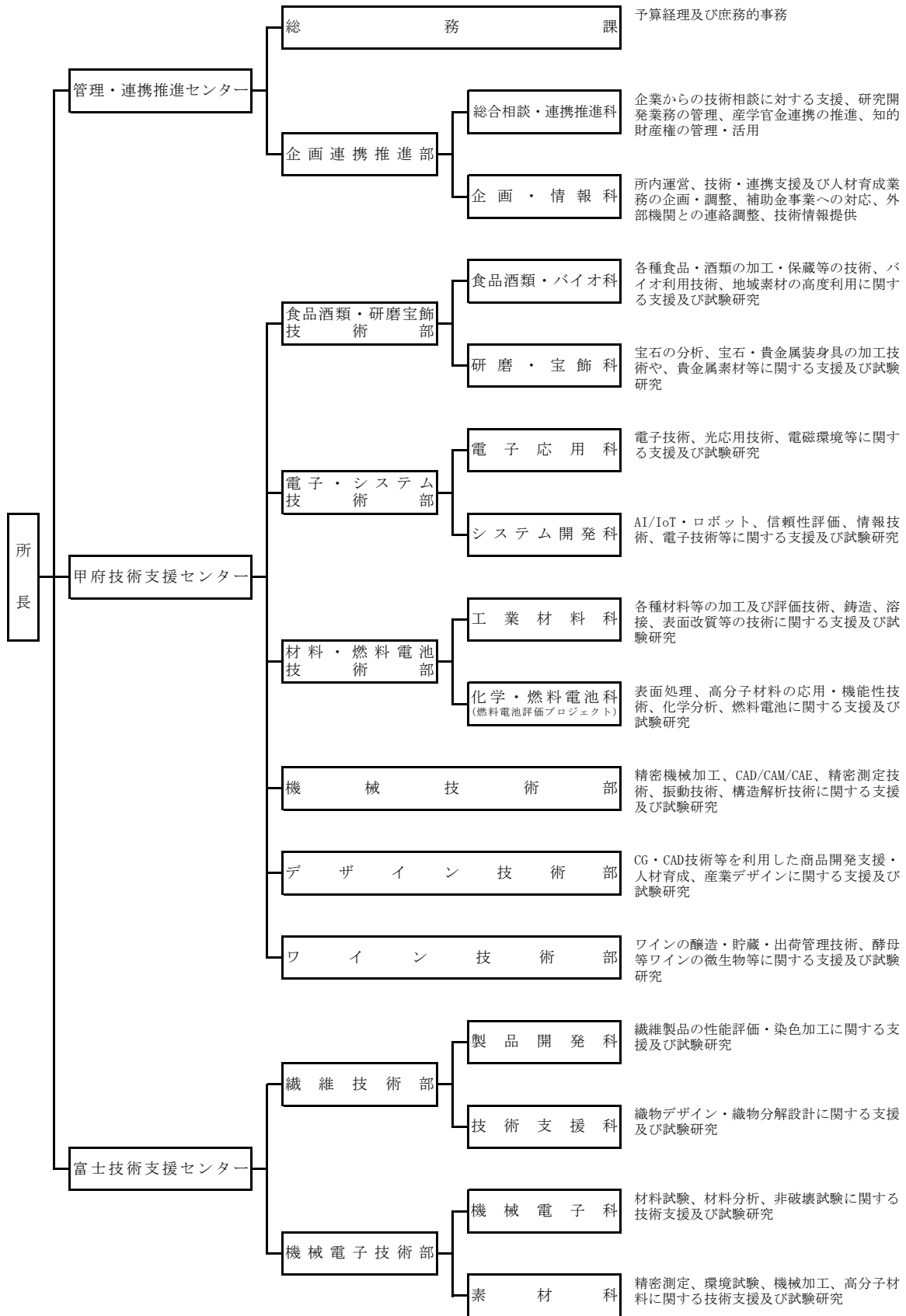
加入学会・協会等

学会名	所在地	電話番号
(一社)山梨県発明協会	山梨県甲府市大津町2192-8 アイメッセ3階	055-243-6145
(公社)日本食品科学工学会	茨城県つくば市観音台2-1-12 農研機構 食品研究部門内	029-838-8116
全国食品関係試験研究場所長会	茨城県つくば市観音台2-1-13 農研機構 食品研究部門内	029-838-7980
(公社)日本農芸化学会	東京都文京区弥生2丁目4番16号 学会センタービル2階	03-5803-9561
(公財)日本醸造協会	東京都北区滝野川2-6-30	03-3910-3853
(公社)砥粒加工学会	東京都新宿区百人町2-22-17 セラミックビル4F	03-3362-4195
宝石学会(日本)	東京都台東区上野3-20-8 小島ビル6F	03-3834-7057
(一社)繊維学会	東京都品川区上大崎3-3-9-208	03-3441-5627
(一社)日本繊維製品消費科学会	大阪府大阪市北区天満橋2-2-7-403	06-6358-1441
(一社)日本繊維機械学会	大阪府大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル6F	06-6443-4691
(公社)日本木材加工技術協会	東京都文京区後楽1丁目7-12 林友ビル	03-3816-8081
(一社)日本熱処理技術協会	東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館6階	03-6661-7167
(一社)日本非破壊検査協会	東京都江東区亀戸2-25-14 京成亀戸ビル10階	03-5609-4011
(一社)型技術協会	神奈川県横浜市中区太田町6-79 アブソルート横浜馬車道ビル201	045-224-6081
(一社)溶接学会	東京都千代田区神田佐久間町4丁目20番地 溶接会館6F	03-5825-4073
(公社)日本鑄造工学会	東京都港区芝浦4-15-33 芝浦清水ビル2F	03-6809-2303
(公社)日本金属学会	宮城県仙台市青葉区1番町1丁目14番32号 フライハイトビル2F	022-223-3685
(一社)表面技術協会	東京都千代田区神田岩本町4-9	03-3252-3286
(公社)高分子学会	東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル6F	03-5540-3770
(公社)日本分析化学会	東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304	03-3490-3351
(公社)精密工学会	東京都千代田区九段北1-5-9 九段誠和ビル2F	03-5226-5191
(一社)電気加工学会	東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラムダックスビル	03-5291-6231
(一社)日本機械学会	東京都新宿区小川町4番1号 KDX飯田橋スクエア2階	03-5360-3500
日本工芸技術協会	東京都渋谷区千駄ヶ谷5-2-3-402 (財)工芸財団内	03-3356-4966
ASEV 日本ブドウ・ワイン学会(アメリカ・日本)	山梨県甲府市北新1丁目13-1 山梨大学ワイン科学研究センター内	055-220-8658
(公社)日本ジュエリーデザイナー協会	東京都中央区八丁堀4-11-7 アライビル6F	03-3523-7344
(一社)日本デザイン学会	東京都杉並区西荻北3-21-15 ベルフォート西荻703	03-3301-9318
NPO法人ヒューマンインタフェース学会	京都府京都市下京区中堂寺粟田町93番地 京都リサーチパーク6号館3階	075-315-8475
(一社)日本人間工学会	東京都新宿区若葉1-10 大洋ビル4C	03-6380-6730
(一社)日本色彩学会	東京都杉並区阿佐谷南1-16-9 平野ビル3階	03-5913-7079
(公社)日本インダストリアルデザイン協会	東京都港区六本木5-17-1 AXISビル4F	03-3587-6391
日本感性工学会	東京都中央区日本橋浜町2-55-5 グランドハイツ1003	03-3666-8000
(公財)日本デザイン振興会	東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F	03-6743-3772
(一社)KEC関西電子工業振興センター	京都府相楽郡精華町光台3-2-2	0774-93-4563
(公社)日本化学会	東京都千代田区神田駿河台1-5	03-3292-6161
(一社)プラスチック成形加工学会	東京都品川区大崎5-8-5 グリーンプラザ五反田第2 205号室	03-5436-3822
(一社)情報処理学会	東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F	03-3518-8370
(公社)応用物理学会	東京都文京区根津1-21-5 応物会館2F	03-3828-7721
(一社)電気学会	東京都千代田区五番町6-2 HOMAT HORIZONビル8階	03-3221-7312
(一社)レーザ加工学会	大阪府茨木市美穂ヶ丘11-1 大阪大学 接合科学研究所	06-6879-8642
(一社)芸術科学会	東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学 理学部情報科学科	-

(令和6年3月31日現在)

付-1 組織と業務

(令和6年4月1日現在)



付-2 職員名簿

(令和6年4月1日現在)

所 長	雨 宮 俊 彦	電子・システム技術部	部 長	河 野 裕	デザイン技術部	部 長	宮 川 理 恵
管理・連携推進センター							
センター長(兼1)	花 形 俊 彦	[電子応用科]			主任研究員	串 田 賢 一	
研究管理幹(兼2)	中 村 聖 名	主任研究員	木 島 一 広		主任研究員	鈴 木 文 晃	
研究管理幹(富)	渡 辺 誠	専 門 員	萩 原 茂		研 究 員	佐 藤 博 紀	
研究管理幹	佐 野 正 明	研 究 員	富 永 裕 輝		会計年度任用職員	数 野 真 裕 美	
特別職 非常勤	大 丸 明 正	技 師	小 西 啓 史		会計年度任用職員	岡 治 美	
		会計年度任用職員	和 光 順 子				
総務課					ワイン技術部		
課長(事務取扱)	花 形 俊 彦				部 長	木 村 英 生	
副 主 査	杉 田 洋 輔	[システム開発科]					
主 任(兼2)	水 上 京 平	主任研究員	宮 本 博 永		主任研究員	小 松 正 和	
主 事(富)	渡 邊 大 河	主任研究員	布 施 嘉 裕		研 究 員	佐 藤 憲 亮	
主 事	田 中 智 唯	専 門 員	阿 部 正 人		会計年度任用職員	三 科 浩 仁	
会計年度任用職員	飯 田 恵 子	技 師	浅 川 拓 也		会計年度任用職員	窪 田 守	
会計年度任用職員	中 村 澄 香	技 師	保 坂 響				
会計年度任用職員	芦 沢 由 美 子				富士技術支援センター		
会計年度任用職員(富)	大 月 恵 美	材料・燃料電池技術部			センター長	高 尾 清 利	
		主幹研究員・部長	山 田 博 之		副センター長	武 川 守 誠	
企画連携推進部					研究管理幹(兼1)	渡 辺 誠	
主幹研究員・部長	恩 田 匠	[工業材料科]					
		主幹研究員	阿 部 治		繊維技術部		
[総合相談・連携推進科]		主任研究員	石 田 正 文		主幹研究員・部長	五十嵐 哲 也	
主任研究員	三 井 由 香 里	主任研究員	鈴 木 大 介				
主任研究員(富(兼1))	尾 形 正 岐	主任研究員	深 澤 郷 平		[製品開発科]		
研究員(兼1)	長 田 和 真				主幹研究員	望 月 威 夫	
		[化学・燃料電池科]			主任研究員(兼1)	尾 形 正 岐	
[企画・情報科]		主任研究員	三 神 武 文		主任研究員	金 丸 勝 彦	
主任研究員	清 水 章 良	主任研究員	上 垣 良 信		研 究 員	塩 澤 佑 一 朗	
主任研究員(富)	尾 形 正 岐	主任研究員	芦 澤 里 樹		主 事(兼1)	渡 邊 大 河	
指 導 主 幹	河 西 伸 一	研 究 員	宮 澤 航 平		会計年度任用職員	渡 邊 直 子	
研 究 員	長 田 和 真	(燃料電池評価プロジェクト)			会計年度任用職員(兼1)	大 月 恵 美	
会計年度任用職員	金 丸 美 穂	研 究 員	川 本 鉄 平				
会計年度任用職員	日 原 今 日 子	会計年度任用職員	加 賀 爪 広		[技術支援科]		
		会計年度任用職員	穴 水 弘 一		主任研究員	秋 本 梨 恵	
甲府技術支援センター		会計年度任用職員	平 賀 庸 子		指 導 主 幹	吉 村 千 秋	
センター長	花 形 俊 彦	会計年度任用職員	丸 山 知 子		会計年度任用職員	勝 俣 久 美	
副センター長	宮 川 和 幸				会計年度任用職員	高 山 美 和	
		機械技術部					
食品酒類・研磨宝飾技術部		部 長	西 村 通 喜		機械電子技術部		
主幹研究員・部長	石 黒 輝 雄				部 長	萩 原 義 人	
		主任研究員	小 松 利 安				
[食品酒類・パイオ科]		主幹研究員	早 川 亮		[機械電子科]		
主任研究員	長 沼 孝 多	主任研究員	米 山 陽		主幹研究員	勝 又 信 行	
主任研究員	尾 形 美 貴	専 門 員	岩 間 貴 司		主任研究員	古 屋 雅 章	
主任研究員	橋 本 卓 也	研 究 員	坂 本 智 明		技 師	渡 邊 慧 輔	
研 究 員	樋 口 か よ	技 師	雨 宮 敦				
		会計年度任用職員	神 澤 隆 彦		[素材料]		
[研磨・宝飾科]					主任研究員	寺 澤 章 裕	
主任研究員	宮 川 和 博				主任研究員	望 月 陽 介	
専 門 員	佐 野 照 雄						
研 究 員	佐 藤 貴 裕						
会計年度任用職員	阿 部 貞 一						
会計年度任用職員	鶴 田 裕 太						

(兼1)：所内兼務 (富)：富士技術支援センター
(兼2)：総合理工学研究機構と兼務

付-3 職員配置

(令和6年4月1日現在)

	行政職										研究職										会計年度任用職員	合計				
	所長	センター長	副センター長	課長	主査	副主査	専門員	主任	主事	センター長	副センター長	研究管理幹	特別職非常勤	主幹研究員・部長	部長	主幹研究員	指導主幹	主任研究員	専門員	研究員			技師			
山梨県産業技術センター	1																							1		
管理・連携推進センター		(1) ¹																						3 (2)		
総務課				(1) ¹		1		(1) ²	2															4	7 (2)	
企画連携推進部														1											1	
総合相談・連携推進科																	1(1) ¹		(1) ¹						1 (2)	
企画・情報科																1	2		1						2	5 (1)
甲府技術支援センター		1									1														2	
食品酒類・研磨宝飾技術部														1											1	
食品酒類・バイオ科																		3		1					4	
研磨・宝飾科																		1	1	1					2	5
電子・システム技術部															1										1	
電子応用科																		1	1	2	1	1			6	
システム開発科																		2	1		2				5	
材料・燃料電池技術部														1											1	
工業材料科																1		3							4	
化学・燃料電池科																		3		1					4	
(燃料電池評価プロジェクト)																				1					4	5
機械技術部														1	1			2	1	1	1	1	1		8	
デザイン技術部															1			2		1					2	6
ワイン技術部															1			1		1					2	5
富士技術支援センター			1							1		(1) ¹													2 (1)	
繊維技術部														1											1	
製品開発科									(1) ¹						1		1(1) ¹		1				1(1) ¹		5 (2)	
技術支援科																	1	1							2	4
機械電子技術部															1										1	
機械電子科																1		1				1			3	
素材科																		2							2	
合計	1	1 (1) ¹	1	0 (1) ¹	0	1	0	0 (1) ²	2 (1) ¹	1	1	2 (1) ¹ (1) ²	1	4	5	4	2	26 (2) ¹	4	11 (1) ¹	5	21 (1) ¹	93 (10)			

(括弧)¹: 所内兼務

(括弧)²: 総合理工学研究機構と兼職

付-4 令和6年度予算

主な事業経費

区分（人件費を除く）		予算額（千円）	備考
所運営費（主な経費） ・運営会議（委員謝金、旅費、その他） ・依頼試験関連経費（消耗品費、修繕費） ・外部評価会議（委員謝金、旅費）		221,466	所の運営に要する経費
研究指導費（主な経費） ・研究事業関連経費 （備品、消耗品、委託費、原材料費、旅費、負担金） ・講習会等の開催に係る経費（講師謝金、旅費等） ・技術情報構築支援事業 ・利用促進事業		106,753	経常研究費 技術相談、中小企業課題対応受託研究、企業訪問（技術支援） 情報提供等に要する経費
成長戦略研究	成長戦略研究費	9,617	成長戦略研究に係る研究費
	総合理工学研究機構費	1,895	総合理工学研究機構に係る研究費
ワインセンター費（主な経費） ・ワイン製造に係る経費		8,919	ワイン技術部の運営等に要する経費
デザインセンター費（主な経費） ・デザイン情報調査提供事業		1,242	中小企業のデザイン開発力向上のためのデザイン情報の収集・提供等の事業に要する経費
職員職務発明特許出願費		1,289	職員の職務発明等に関する特許出願、県有特許権の管理を行う経費
高度研究開発促進事業費		5,539	県内産業の高度化を図ると同時に産業技術センターの研究開発を促進するため、特定分野で専門的な知識を持ち、高度な見識を有する人材による指導を行うための経費
基礎的技術産業集積活性化推進事業費（主な経費） ・ものづくり人材育成研修事業 ・イノベーション支援棟管理費 ・富士技術支援センターイノベーション支援棟整備事業費		133,451	医療機器をはじめとする機械電子産業や地場産業などの製品開発支援機能を強化することで、中小企業を後押しして高付加価値化を図り、受注拡大に繋げるための経費
山梨ものづくり支援事業 ・県産ワイン・日本酒品質強化支援事業費		19,002	製品の品質評価について、技術者の育成や必要な機器整備等に要する経費（地方創生推進交付金事業）
外部資金	燃料電池関連産業集積・育成支援事業費 ・燃料電池評価プロジェクト推進事業費	51,506	燃料電池セルの発電特性評価をおこなう機能の確立と人材育成を図り、燃料電池関連産業の集積と育成を促進するための事業に要する経費
	難燃性マグネシウム合金自動車用大型部材製造技術開発事業費	4,400	NEDOの「戦略的省エネルギー技術革新プログラム事業」に参画して研究を行う経費

2024

令和5年度年報

発行日 令和6年8月30日

発行 山梨県産業技術センター

〒400-0055
山梨県甲府市大津町2094
Tel 055-243-6111
Fax 055-243-6110

印刷 (株)少國民社

〒400-0851
山梨県甲府市住吉1-13-1
Tel 055-226-2125
Fax 055-231-2100